

算 数

1 編集の具体的方針

(1) 分冊について

①各学年の分冊は次のとおりである。

第1学年

さわって学ぶ 導入編 さわってみよう

第1巻 なかよし・1章

第2巻 2章・3章

第3巻 4～6章

第4巻 7～10章

第5巻 11～14章

第6巻 15章・16章

第7巻 17章以降

第2学年

第1巻 1章・2章

第2巻 3章・4章

第3巻 5章・6章

第4巻 7章・8章

第5巻 9章・10章

第6巻 11～13章

第7巻 14章・15章

第8巻 16章以降

珠算編1 そろばん

珠算編2 足し算と引き算

珠算編3 かけ算

珠算編4 わり算

第3学年

第1巻 1章

第2巻 2章・3章

第3巻 4章・5章

第4巻 6章・7章

第5巻 8～10章

第6巻 11章・12章

第7巻 13・14章

第8巻 15章・16章

第9巻 17章以降

第4学年

第1巻	1章
第2巻	2章・3章
第3巻	4章・5章
第4巻	6章
第5巻	7章
第6巻	8章・9章
第7巻	10章・11章
第8巻	12章
第9巻	13章・14章
第10巻	15章以降

第5学年

第1巻	1章
第2巻	2章・3章
第3巻	4章
第4巻	5章
第5巻	6章・7章
第6巻	8章・9章
第7巻	10章・11章
第8巻	12章・13章
第9巻	14章・15章
第10巻	16章
第11巻	17章
第12巻	18章以降

第6学年

第1巻	1章
第2巻	2章・3章
第3巻	4章・5章
第4巻	6章・7章
第5巻	8章・9章
第6巻	10章・11章
第7巻	12章
第8巻	13章
第9巻	13章のあとの部分

②各巻に分けた内容

一度に複数巻の教科書を使用しての学習は、量的にも検索性においても負担が大きい
ため、できるだけ当該の巻のみで学習を進められるように次の内容を分冊に合わせて各
巻に分けて配置した。

「プラスワン」，「答え」，「索引」

③各学年の第1巻に入れた内容

「楽しい算数の使い方」，「算数学びナビ」，「チェックアンドトライ」，「〇年まで

のまとめ」

④原典教科書巻末添付の教材

原典教科書では、巻末に切り取って活用できるカードや図形教材が添付されている。点字教科書では、原典教科書のようにミシン目や切り抜きの加工を施すことは困難であるが、学習指導上不可欠なものは凸図（点図）化して当該の単元のところに掲載するようにした。

(2) レイアウト等について

①目次について

ア. 「前の学習」、「後の学習」を目次から本文に移した。

イ. 章番号は1 2 3, 節にあたる番号は何章の何節であるかが分かるように1-1 1-2とした。

②本文等のレイアウト

ア. 一つの章の始まりの1ページ目には、8マスあけて章番号をかき、行を改めて10マスあけて副題をかいた。

そのあと1行あけて、枠を書き、目次にある前の学習と後の学習をいた。

ページを改めて、「新しい学習が始まるよ」の内容を入れた。

なお、一つの章の終わりには、終止線を入れた。

イ. 節に当たる番号には、章番号も追加し、1-1 1-2などと記した。なお、節が変わる場合は、ページを改めた。なお、第1学年は例外である。

ウ. 節の中の「毎日の学習」の番号(①, ②など)は、1., 2. などとし、4マスあけて番号をかいたあと、行を改めて本文の内容を記した。また、その中の活動の番号(①, ②など)は(1), (2)などとした。なお、一つの活動のあとは1行あけた。

エ. めあてについては、2マスあけて(めあて)としたあと、2マスあけてめあての内容をかいた。

オ. 会話については、会話が始まる前を1行あけ、2マスあけて、名前を記したあと、2マスあけて「 」内に発言内容を記した。一連の会話が終わったあと、1行あけて次の内容を記した。

また、〇〇の考えについては、4マスあけて、…の考えとしたあと、行を改めて考えの内容を記した。考えの内容が終わったあと、1行あけて次の内容を記した。

カ. 発見!については、発見の前を1行あけ、4マスあけて、はっけん!としたあと、行を改めて枠で囲んで内容を記した。なお、発見!の内容が終わったあとは、1行空けた。また、原典教科書で「発見!考え方」のようにタイトルに付随する記述がある場合には、はっけん!(考え方)とした。

キ. 言葉の定義や、原典教科書で青い線で囲まれている部分については、枠にいれた。

また、新出の言葉など、太字で書かれているものは原則「 」で囲んだ。

ク. 簡条書きでまとめられている部分について、原典教科書の●印を、(ア)(イ)などの記号に変更した。

ケ. 鉛筆のマークで書かれた練習問題については、4マスあけて、練習問題1としたあと、行をあらためて2マスあけ、問題文を記した。また、練習問題の中の①②などは、1., 2. などとした。

プラス・ワンのページへの参照がある場合には、問題が終わった次の行に、2マスあけて、(プラスワン p〇〇)とした。

- コ. 他の教科へのリンクについては、該当箇所のもとに2マスあけて、（リンク——教科名）と記した。
- サ. パソコンや電卓のマークが付されている場合には、（パソコン）、（電卓）とし、さらにパソコンのマークにキーワードも書かれている場合には、（パソコン——キーワード）とした。また、「パソコン」、「電卓」、「プラス」などのマークは、該当の問題の番号のもとに2マスあけて記した。
- シ. チェックアンドトライ、確かめ問題、ふくしゅう、〇年の復習などのページでは、ページを改めたあと6マスあけて、たしかめもんだいなどとし、1行あけた上で4マスあけて、（しっかりチェック）や大問番号を記した。なお、大問番号は1、2などとし、小問番号は1.、2. などとした。
- ス. 練習問題や確かめ問題、ふくしゅうなどの問題について、計算問題では、問題の指示がなく式が書かれているため、「次の計算をしましょう。」の一文を追加した。また、にあてはまる数や式、言葉などを答える問題でも、問題の指示がない場合には、「次のにあてはまる数や言葉を答えましょう。」などの一文を追加した。
- セ. 単元の学習の中で、特に、よく考えて話し合いながら学習するところには、原典教科書の問題の右上に「じっくり深く学び合おう」というマークが付されており、内容に沿って、原典教科書のページの左右に「問題をつかもう」や「自分で考えよう」などのコメントが付されている。これらについては、6マスあけて、「問題をつかもう」などとかいたあと、行を改めて2マスあけて内容を記した。なお、「問題をつかもう」などについて細かい観点が箇条書きで書かれている場合は、「問題をつかもう」のあと行をあらためて、6マスあけたあと、ア.イ.などを付して観点を記した。
- ソ. ひらめきアイテムについて、吹き出しに付されているものは、読みやすさを優先し、「ひらめきアイテム」という語を削除し、キーワードをセリフの中に入れるようにした。また、発見！など会話以外で付されている部分については、削除するか、残すかの検討を行った。なお、「ひらめきアイテム集」のページについては、点字教科書に書き込むことができないため削除し、第1巻の「算数学びナビ」の中で「ひらめきアイテムをまとめておくといいよ。」を追加した。
- タ. 〇年までのまとめ、算数たまたばこ、フクロウ先生のなるほど算数教室、プログラミングに挑戦などのページについては、4マスあけて、算数たまたばこなどとし、副題がある場合には、行を改めて6マスあけたあと、一副題を記した。本文は行を改めたあと、2マスあけて書いた。
- チ. プラス・ワンのページで、問題番号がア、イなどとなっているものを、1、2などに変更した。
- ツ. 原典教科書のページ数を、点字教科書のページ行の左端に「=」で挟んで示した。
- テ. 「指導者・保護者のみなさまへメッセージ」の内容については、児童の読みやすさや使いやすさを優先し、削除した。
- ト. 吹き出しで使われているキャラクターは、原典教科書どおり、「ラビちゃん」とした。吹き出し中のキャラクターのせりふは、原典教科書どおり会話形式で表せるものは、そのまま表現した。会話形式では表現しにくいものは、文章を補って説明するようになった。
- ナ. 「〇ページ」のように示しているところは、点字教科書のページ数を示すが、編集出版のスケジュール上、正確なページ数を示すことができなかった。内容に合わせて該当ページを参照してほしい。

[図表関連]

(3) 触察の基礎となる教材について

触って学ぶ導入編として、触運動及び触覚による認知の基礎的練習のための教材「さわってみよう！」を独立して示した（資料1にその教材を図示するとともに概要を記した）。

(4) 図・絵・写真の取り扱いについて

触知覚の認知の特性に配慮し、認知しやすさ・凸図の認知に係る時間・本文と図の行き来の負担・全体の把握までの負担などを考慮に入れて、凸図化するものを検討した。また、凸図化においては、課題を行う上で必要となる情報のみ残すようにした。

- ① 原典教科書の図はできる限り凸図化した。凸図下が困難であるものや文章による表現で十分と思われるものについては削除し、説明に変えた。
- ② 絵や写真は、触図化が困難なものが多いため、原則文章による表現に置き換えて示した。なお、触覚によって学習する上で、必ずしも必要ではない絵や写真などは削除した。また、絵の中の会話文などはできるだけ原文のまま残し、必要な場合は補足的な説明を加えたり、人物に名前をつけたりした。
- ③ 図式的な表現を理解するためには、複数の箇所を同時に意識する必要がある。触知覚での認知においては複数のものを同時に意識することは難しいため、文章による表現にすることを原則とした。なお、文章による表現にしたことで、課題の答えになってしまうおそれがある場合は、内容によって、課題の変更、あるいは、表現の工夫などをした。
- ④ 計算の法則などの表現で、○△□などが使用されているが、児童が点字で記録できるように、(フ)・(ム)・(マ)などの文字に置き換えた。
- ⑤ 2次元的に表現された図表等を掲載する場合は、何を読み取るのかを図表の前に文章により明確に説明した上で、図表等を提示することを原則とした。触覚による認知では、視覚活用の場合のように広範囲を同時にとらえることが困難なことに配慮した対応である。
- ⑥ 教材について
掲載できるスペースやページ数などの関係から、点字教科書に掲載されている凸図には、さまざまな制約がある。指導に当たっては、点字教科書の図版だけを用いるのではなく、児童の実態や学習内容等に応じて、触察により理解しやすい補助教材を用意して対応することが望まれる。

(5) 見取り図は原則として削除し、投影図法の表現や展開図、または文章化することによって理解を促すようにした。

投影図法では、「上から見た図」の下に「正面から見た図」をおくことを原則とした。

「横からみた図」を入れる場合もある（第三角象限法による）。

課題の内容に応じて、一方向からの図や断面図を用いる場合もある。

見取り図のことを問う課題については、当該の表現に関する課題に変更した。

なお、触認知の負担を軽減するために、課題に合わせた立体図形を準備することが望まれる。

(6) 地図などの縮図については、触覚的に弁別しやすい程度に拡大するなど、触ることを踏まえた表現を心がけた。

(7) 図表について

- ① 図表番号については、一つの単位の中で通し番号を付し、図は図－1、図－2など、表は表－1、表－2などとした。また、図表番号は4マスあけて書き始め、2マスあけてタイトルを記した。タイトルが2行にわたる場合には、2行目は6マスあけて書いた。
- ② 図表の位置の示し方について（2年生以降）
 - ア.本文中での「右の図」「下の図」という表記については、「次の図○」とした。
 - イ.本文中に特に図の活用に関する指示がない場合は、関連する文章の文末にカッコ書きで記した。
 - ウ.本文と図等の掲載ページが異なっている場合は、「○○ページの図○」と表記した。
 - エ.文章で補わないと内容が理解が難しい場合は、文中に説明を加えた。
- ③ 表の内容は枠で囲んだ。
- ④ 図や表が横書きとなる場合には、ページ行に図表番号と（よこがき）と書いた。また、横書きの状態でも改めて図表番号から記した。なお、見開きの場合も同様とし、見開きの向きは揃えた。
- ⑤ 凡例を極力避けるようにし、凡例を利用する場合も、推測しやすいものとなるように考慮した。一つの単位内で共通して用いられるもの（1や10の固まりなど）については、単位のはじめ、または、初出の箇所に凡例を示すようにした。
- ⑥ 表の列項目などが2行に渡る場合は線でそれ以外のものと区別できるようにした。
- ⑦ グラフの方眼は裏点を原則とした。
- ⑧ グラフのリード線などは、裏点または弱い点とした。
- ⑨ 図の中の文字の位置は、図の認識を妨げないように考慮した。
- ⑩ 図形の中で長さが等しいことを表すマークについて、線分を横断させず、片側のみで示した。
- ⑪ 図の認識を最優先に考え、平行を表す記号や矢印などは別の表現に置き換えるようにした。
- ⑫ 二つの図形が接している図については、二つの図形を認識できるように、共有点を作らず、二重線で表現した。
- ⑬ 方眼の数を数える必要がある図については、方眼の大きさに考慮した。
- ⑭ 長さを表す数値の位置は、長さの把握を優先するものと、形の認識を優先するものによって考慮した。
- ⑮ 空間図形の高さや、線分の途中に様々な情報が含まれている線分の長さを表す場合には、該当箇所から少し離して点線を表し、その外に数値を入れた。
- ⑯ 空間図形は、目的に合わせて、投影図（第3三角法）、平面図、立面図、断面図、展開図、言葉による説明に置き換えた。
- ⑰ 探しやすさと比較のしやすさに配慮し、課題に合わせて、各図形への番号の付加や、向きや並び方の調整を行った。
- ⑱ 列項目が多い表については、紙面などを考慮し、縦と横の入れ替えを行ったものもある。ただし、比例などの伴って変わる量の表については、原則、縦と横の入れ替えを行わなかった。なお、表の途中までしか入らなかった場合には、行を改め、最初の書き始めより4マス下げて続きを書いた。

* グラフでは、x軸が水平方向に、y軸が垂直方向に描かれるという基本的なことをしっかり押さえておく必要がある。

- ⑭ 表やグラフの数字については、数符を省略した場合もある。なお、その場合は、本文中にその旨を表記した。

[計算]

(8) 筆算の扱い

小学校学習指導要領では筆算を指導することとなっているが、筆算は視覚的要素が強く、紙を縦横に広く使用して計算する方法であるため、点字での処理には制約が大きい。したがって、点字を使用して学習する児童（以下「児童」とする）には不向きな計算方法だといえる。そのため、筆算を代用する計算方法として、基本的に珠算が最良と考えられる。珠算は、視覚の代わりに触覚を用いて学習できるよう、指で計算の過程を意識しながら、かつ、基本的に一カ所に集中しながら計算できるものである。それ故、筆算の原理などの基本的事項の学習を除き、珠算を採用することとした。

筆算については、四則計算の原理を理解させるために基本的な部分のみを原典教科書に従って取り上げた。原典教科書で筆算扱いになっている練習問題は横式に変更した。筆算については、あくまでも計算の原理や位取りの把握など基本的事項の指導との関わりで扱うことを原則とした。また、原典教科書における計算方法の説明に際しては、点字による表記やそろばんでの計算方法との混乱を避けるために、原典教科書の説明をそのまま点訳するのではなく、上位の桁から展開する方法に翻案して示すこととした。

また、視覚経験があるなど児童の障害の状態等によっては、小学校学習指導要領で示されている筆算で指導することも考えられる。

(9) 珠算編の趣旨と利用法

(8)で述べた通り、筆算の代わりに珠算を採用したことから、珠算の学習のため、別に珠算編を編纂した。筆算が第2学年から取り扱われているため、珠算編は第2学年に組み入れた。

この珠算編では、四則演算について基本的な部分を取り扱っている。また、可能な限り教科書における計算領域の系統性を尊重して組み立てている。この点を踏まえ、珠算編のすべての内容を第2学年で取り扱うものではないことに留意し、各学年の教科書の内容と対応させて、珠算を効果的に導入することが望まれる。また、児童によっては、導入や次の段階への展開の扱いが十分とは言い難い場合もあるため、児童の状況に合わせて、指導者による教材等の補充が必要である。

また、そろばんは計算の道具としてだけでなく、位取りや数の理解などの教具としても児童には有効な教具であることを十分に認識して、活用していくことも大切である。また、珠算が技術的に習熟してくると、数量の感覚などが希薄になる可能性がある。そこで、計算の際には、次のことには注意が必要である。珠算の処理を速くできるようにするために、次のことがおろそかにならないようにしなくてはならない。

- ・概数としての結果がどの程度の数になるのかを予想できること。
- ・5の分解と合成、10の分解と合成などの感覚があること。
- ・割り算の際に、適切な商を立てられること。
- ・小数を含め、桁に対応した大きさの感覚があること
- ・各演算に応じた数量の変化を意識できること。

[測定]

(10) 測定の課題において、ものさしなどの目盛りの表示については、触覚の特性として細部の弁別が困難なことを考慮し、原典の表し方にかかわらずその単位を5mm以上となる

ようにした。時計については5分刻みの目盛りを原則とした。その場合の端数となる数値の判断については、計測位置と目盛りとの関係から類推させるように指導することになる。

[課題の変更]

(11) 説明文や問題文などは、原典教科書どおりに表記することを原則としたが、児童にとって理解が困難であるとおもわれる内容や表記、活動については、原典教科書の趣旨を生かして、説明や問題の一部を差し替えたり、削除したりした。

また、可能な限り、原典において「見て」と表現されている部分は「調べて」に、「下の」と表現されている部分は「次の」という表現に置き換えることを原則とした。

「書き入れる」、「書き込む」などの表現については、課題の内容に応じて、「書く」、「考える」など、解答しやすい表現に置き換えることを原則とした。

(12) 文章題の式と答えの点字の書き表し方に原則性をもたせた。

文章題の場合、式は行頭3マス目から書き表し、答えは、次の行の5マス目から書き始めることとした。原典教科書での例題等の解答において、答えの部分にアンダーラインをつけて表しているところは、「こたえ 」と記した。式が数行にわたるときは、等号の前で行替えし、式のつなぎ符を付置した。

(13) 度量衡の単位については、初出の際に、点字での表記とともに普通の文字の形を点図で表すことにした。

(14) 用語の「数」の点字での表記については、単独で用いられている時には「かず」と書き、計算にかかわって用いられている時は、「すう」と点訳することを原則とした。端数を表す場合は「はした」を用いることに統一した。

(15) 教科書に直接に書き込んだり絵を描いたりする課題については、点字教科書ではそうした活動が困難なため、点字器や表面作図器（レーズライターセット）を用いて作業できる課題に変更した。

(16) 図形の単元の導入は、視覚活用を前提とした内容になっているものが多い。多くの提示物の中から特定のものを選択する課題は、触覚を使って作業すると探索に時間がかかり、児童にとっては高度な作業になってしまう。こうした課題については、指導書に示されているとおりに指導するのではなく、触覚活用に適した指導の工夫をしていく必要がある。

こうした問題では、いきなり選択課題から入るのではなく、ひとつの図形の要素を一つ一つ丁寧に確認していくような取り組み方が考えられる。

また、原典教科書は視覚中心の編集になっているため、実際の指導では点字教科書に示されている図だけは不十分な場合がある。児童の実態に応じて、触覚的に理解しやすい触図を別途用意するなどの配慮も大切になってくる。

(17) 点字表記について

日本点字委員会編『数学・情報処理用点字表記解説2019年版』に原則したがっている。児童の読みやすさなどに配慮し、次の点に留意した。

① 今回からの変更点

- ・分数かっこを使用する

- ・数符から始まる数式以外には数式指示符を付する
- ・関係記号（＝や<、>など）のあとは1マスあけとする

② マスあけ

- ・線の名称などをあらわす $\frac{1}{2}$ のあとは1マスあけとした。
- ・番号類のあとは、記号と内容を見分けやすくするために2マスあけた。
- ・図の番号（例えば $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$ 、 $\frac{5}{6}$ ）は途中で行替えをしない。
- ・数のあとについて、単位以外の助詞などは1マスあけて記した。
- ・空欄記号のあとは1マスあけを原則とし、単位は続けた。

③ 符号・記号

ア. 句読点の省略

数式の終わりに書かれている句読点は省略した。

イ. つなぎ符

日本語の点字表記では、アルファベットのあとに言葉が続く場合つなぎ符をはさむことになっているが、算数・数学の点字表記では、「 $\dot{\quad}$ （ダッシュ）」などとの混同を避けるためにつなぎ符を用いなくてマスあけで示すことになっている。本編集においてもこの原則に従った。

ウ. 数字の表記

数を含む語については、点字表記法では仮名がきであらわすことになっている場合もあるが、算数科の教科書においては、数字に単位がつく場合や、数としての認識が重視される場合は、数字を使用して表記することを原則とした。具体的には次のような場合である。

- 1のくらい、10のくらい。
- 1けた、2けた、3けた。
- 1くみ、2くみ、3くみ。
- 99（九九）
- 3角形

エ. 数字に続く単位等の切れ続き

整数、小数に日本語の単位が続く場合は、つなげて記すが、分数に日本語の単位が続く場合については、1マスあけることを原則とした。ただし、単位などの記号が続く場合はつなげて記した。

（例） $\frac{7}{9}$ □時間 $\frac{5}{2}$ □倍 $\frac{3}{5}$ km $\frac{5}{9}$ kg

オ. 単位を含む関係式

単位を含む関係式の表記では、単位を含めて第1かっこでくくって表す。

（例） $\frac{1}{1000}$ (1カップ=1000)

カ. 空欄記号

空欄に入るものの長さに関わらず、 $\frac{\quad}{\quad}$ とした。

キ. 表などにおける桁揃えの原則

表などにおける数字の揃え方については、一般の点字表記では、 $\frac{\quad}{\quad}$ を縦に揃えることが原則であるが、算数においては数の大きさを確実に理解させるために、位取りに従って桁揃えとすることを原則とした。

以上17項目の具体的方針によって、本編集を行った。

「2 編集の具体的内容」については、大幅な変更箇所や特に説明を必要とするものを取り上げてある。

なお、児童用の算数教具については、参考資料3に掲載した。

2 編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1年	4～5	絵	変更	<p>原典のイラストを文章化し、分割して掲載した。また、動物や花などのイラストの上に名前を追加した。</p> <p>(1ページ目)</p> <p>なかよし</p> <p>動物たちが、1年生を迎える会をしています。舞台ではいろいろな楽器を使って合奏をしています。</p> <p>1年生は舞台の下で演奏を見えています。</p> <p>なかまをみつけましょう。</p> <p>(舞台の下の1年生)</p> <p>*舞台の区切り線の下に、クマ・クマ・ネコ・ネコを横一列に配置した。</p> <p>(2ページ目)</p> <p>(舞台の前から1列目と2列目の動物)</p> <p>(前)</p> <p>キツネ キツネ キツネ</p> <p>(リコーダー) (リコーダー) (リコーダー)</p> <p>パンダ カバ カバ</p> <p>(トライアングル) (トライアングル) (タンバリン)</p> <p>(3ページ目) *2ページ目と見開き</p> <p>イヌ イヌ イヌ</p> <p>(タンバリン) (トライアングル) (トライアングル)</p> <p>パンダ パンダ イヌ</p> <p>(リコーダー) (リコーダー) (タンバリン)</p> <p>(4ページ目)</p> <p>(舞台の前から3列目の動物)</p> <p>(前)</p> <p>ゾウ カバ ヒツジ ヒツジ</p> <p>(大太鼓) (ラッパ) (ラッパ) (ラッパ)</p> <p>(上を飛んでいる鳥)</p> <p>ハト スズメ スズメ ハト</p> <p>(5ページ目) *4ページ目と見開き</p> <p>(舞台の脇の飾り)</p>	<p>参考資料2を参照</p> <p>この段階で点字を読むのは難しいと思われるため、指導者とともに使ってもらいたい。</p>

			<p>(1 ページ目)</p> <p>キリン先生と1年生たちは、校庭に出てきました。 どちらが多いでしょうか。</p> <p>*巣箱 (木を表す大きな円の中に、長方形の中に円を描いたものを7個配置した)</p> <p>*トリ (木の周りに6個の三角形を配置した)</p> <p>(2 ページ目) *1 ページ目と見開き</p> <p>トリには、ブロックの表を上置き、巣箱には、ブロックの裏を上置いてみましょう。 置いたブロックを次の口に並べてみましょう。 *ブロックを並べるための枠</p> <p>(3 ページ目)</p> <p>*一輪車 (一輪車を表す簡単な絵を7個、横一列に配置した)</p> <p>*一輪車を遣おうとしているイヌ (イヌを表す簡単な絵を7個、5個と2個に分け、横2列に配置した)</p> <p>(4 ページ目) *3 ページ目と見開き</p> <p>一輪車には、ブロックの表を上置き、イヌには、ブロックの裏を上置きましょう。 置いたブロックを次の口に並べてみましょう。 *ブロックを並べるための枠</p> <p>(5 ページ目)</p> <p>*赤いチューリップ (点でうめたチューリップを6個、上半分に配置した)</p> <p>*白いチューリップ (輪郭だけのチューリップを、下半分に配置した)</p> <p>(6 ページ目) *5 ページ目と見開き</p> <p>赤いチューリップには、ブロックの表を上置き、白いチューリップには、ブロックの裏を上置きましょう。 置いたブロックを次の口に並べてみましょう。 *ブロックを並べるための枠</p>	<p>教科書で作業できるようにしてあるが、教科書の上にブロックを並べることは難しいと考えられるので、同じようなものを作成するとよい。</p>
--	--	--	---	--

	10～11	絵	<p>変更</p> <p>原典のイラストを文章化し、分割して掲載した。また、動物や物などのイラストの近くに名前を追加し、イラストは簡略化し、触りやすい配置にした。</p> <p>(1 ページ目)</p> <p>1 10 までのかず</p> <p>〇〇ページから〇〇ページまでは、校庭の様子を表しています。</p> <p>(校庭の遊具)</p> <p>*タイヤ (5 個のタイヤを横一列に配置した)</p> <p>*ブランコ・砂場 (砂場は長方形の中を点でうめた)</p> <p>(2 ページ目)</p> <p>(水道の蛇口に並んでいる動物たち)</p> <p>*水道 (左側に縦長の長方形をかき、右の辺に蛇口を表す 3 個の円を配置した)</p> <p>*一番上の蛇口の右にイヌ</p> <p>*真ん中の蛇口の右にイヌ・キツネ (ジョーロ)</p> <p>*一番下の蛇口の右にキツネ (ジョーロ)・イヌ (ジョーロ)・キツネ (ジョーロ)</p> <p>(3 ページ目) * 2 ページ目と見開き</p> <p>ラビちゃん「イヌは何匹いますか。ブロックを使って数えてみよう。」</p> <p>* 3 個のブロック</p> <p>* 3 の数カード</p> <p>3</p> <p>の順に入れた。</p> <p>(4 ページ目)</p> <p>(大縄をしている動物たち)</p> <p>*大縄を回しているパンダ (左側) とヒツジ (右側) をかき、その間に大縄を跳んでいる 3 匹のヒツジを横一列に、待っている 2 匹のパンダを左側に縦一列に配置した。</p> <p>(5 ページ目)</p> <p>(校庭の花壇の様子)</p> <p>*花壇を表す長方形の中に、点でうめたチューリッ</p>	参考資料 2
--	-------	---	---	--------

				<p>プを5個、横一列に配置した。</p> <p>(校庭の壁の周りの様子)</p> <p>*チョウチョ (5匹のチョウチョを横に配置した)</p> <p>*花 (4本の花を横一列に配置した)</p> <p>(6ページ目)</p> <p>(下校する動物たちの様子)</p> <p>*キリン先生 (縦長長方形で表した)</p> <p>*カバ (2匹のカバをキリン先生の右に横一列に配置した)</p> <p>*クマ・クマ・ゾウ (2匹のクマと1匹のゾウを、ページの下側に横一列に配置した)</p>	
	12	図	変更	<p>1～5について、1ページに1個の数とし、次のような構成とした。</p> <p>数えたものを数字やカードで表します。</p> <p>*1個のボールの絵</p> <p>ブロック □ 1「いち」</p> <p>数の分だけ印をつけると…</p> <p>*10個の円を描いたカードで、1個だけ点でうめた。</p> <p>(以下、2～5についても同様であるが、10個の円はすべて輪郭のみとした)</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p> <p>印をつける際には、シールを貼るとよい。</p>
	13	書き込み	削除	<p>1～5の数字を書く練習については削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(11)に基づく。</p>
	13	絵	文章化	<p>先生と子どもたちの学習の様子を表す絵を、文章にした。</p> <p>先生が出したカードの数だけ、ブロックを並べましょう。</p> <p>先生が出したカード 4</p> <p>ゆうとさんが並べたブロック □□□□</p> <p>先生が出したカードの数を数字で書きましょう。</p> <p>先生が出したカード *3の数カード</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
	14	絵	追加	<p>ページの最初に「数を答えましょう。」を追記し、ゆうとのセリフを絵の前に入れた。</p> <p>次の順に配置した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>

			<p>(1) ピアノ</p> <p>(2) ぼうし</p> <p>(3) ほうき</p> <p>(4) アサガオの種 (あおいのセリフを挿入)</p> <p>(5) ウサギ</p> <p>(6) ボール</p> <p>(7) 黒板消し</p>	
15	1	変更	<p>ラビちゃんのセリフを次のように変更し、左の絵には (ア) ~ (エ), 右の絵には (カ) ~ (ケ) を付けた。</p> <p>ラビちゃん「右と左で同じ数はどれかな。」</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。
15	絵	追加 削除	<p>子どもたちがおはじきを並べている絵を次のように変更した。</p> <p>さくら「5をおはじきで作ってね。」</p> <p>このあと、子どもたちの絵を削除し、それぞれのおはじきだけを表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
16~17	絵	変更	<p>原典のイラストを文章化し、分割して掲載した。また、動物や物などのイラストの近くに名前を追加し、イラストは簡略化し、触りやすい配置にした。</p> <p>(1 ページ目)</p> <p>○ページから○ページでは、通学路の様子を表しています (○には点字教科書のページ数が入る)。</p> <p>(交差点の様子)</p> <p>*道路を点でうめ、縦の道路には車を表す長方形を6個、左側の道路にはネコを表す円を6個、右側の道路にはペンギンを表すおうぎ形を6個配置し、交差点の右上と左下にサルを配置した。また、左下の領域に花を表す円を7個配置した。</p> <p>(2 ページ目)</p> <p>(ウシとブタのお店の様子)</p> <p>*ウシの店として、リンゴ8個を横二列に配置し、ブタの店として、アンパン9個を横三列に配置した。</p> <p>(3 ページ目)</p> <p>(木の周りの様子)</p>	参考資料2

			<p>*木をかき，トリを表す三角形を木の中に6個と，木の外に1個配置した。</p> <p>(4ページ目)</p> <p>(池の様子)</p> <p>*池を点でうめ，その中に魚を10匹配置した。</p> <p>(5ページ目)</p> <p>(ウマが野菜を作っている畑)</p> <p>*チョウチョを10羽，横一列に配置した。</p> <p>*畑の中に，ニンジン9本，キャベツを8個，若葉を10本，それぞれ横方向にできるだけ整列させて配置した，</p> <p>*畑の右側に，ウマを縦長の長方形で表し，ジョーロを横長の小さい長方形で表した。</p>	
18	図	変更	<p>6～10について，1ページに1個の数とし，次のような構成とした。</p> <p>数えたものを数字やカードで表します。</p> <p>*6匹のネコを表す絵</p> <p>□□□□□ 6「ろく」</p> <p>□</p> <p>数の分だけ印をつけましょう。</p> <p>*10個の円を描いたカード</p> <p>(以下，7～10についても同様)</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p> <p>印をつける際には，シールを貼るとよい。</p>
19	書き込み	削除	<p>6～10の数字を書く練習については削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(11)に基づく。</p>
19	絵	文章化	<p>子どもたちの学習の様子を表す絵を，文章にした。</p> <p>友達が出したカードの数だけ印がついているカードを探しましょう。</p> <p>友達が出したカード 7</p> <p>さくらさんが見つけたカード *7の数カード</p> <p>友達が言った数字をノートに書きましょう。</p> <p>あおきさん「じゅう」</p> <p>カルロス 10</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
20	絵	追加	<p>ページの最初に「数を答えましょう。」を追記し，次の順に配置した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>

			<p>(1) あり (2) 子ども (3) 家 (4) 車 (5) ネコ (6) タンポポ (7) スズメ</p>	
21	1	変更	<p>ラビちゃんのセリフを次のように変更し、左の絵には(ア)～(エ)、右の絵には(カ)～(ケ)を付けた。</p> <p>ラビちゃん「右と左で同じ数はどれかな。」</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。
21	絵	削除	<p>先生がタンバリンをたたき、聞こえた音の数を絵や○でかいているイラストを削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
22～23	絵	変更	<p>原典のイラストを文章化し、分割して掲載した。また、動物や物などのイラストの近くに名前を追加し、イラストは簡略化し、触りやすい配置にした。</p> <p>(1 ページ目)</p> <p>かずをさがそう (リンクーせいかつか)</p> <p>〇〇ページから〇〇ページまでは、学校の中の物の数を数えている様子です (〇には点字教科書のページ数が入る)。</p> <p>ラビちゃん「10 までの数をみつけよう。」</p> <p>(音楽室)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 太鼓 (3 個の円を横一列に配置した) * 黒板消し (3 個の長方形を横一列に配置した) * ピアノ (鍵盤を表す模様で表した) * 椅子 (長方形で表した) <p>(2 ページ目)</p> <p>(校庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> * タイヤ (7 個のタイヤを横二列に配置した) * 鉄棒 <p>(3 ページ目)</p> <ul style="list-style-type: none"> * チューリップ (点でうめたチューリップ 6 個を、横一列に配置した) * パンジー (10 個の円を横一列に配置した) 	参考資料 2

			<p>*チョウチョ（2匹のチョウチョを横一列に配置した）</p> <p>*枝にとまっている鳥（2個の三角形を横一列に配置した）</p> <p>*飛んできた鳥（羽を広げた鳥を2羽，横一列に配置した）</p> <p>（4ページ目）</p> <p>（教室）</p> <p>*椅子（3脚の椅子を横一列に配置した）</p> <p>*机（5台の机を横二列に配置し，そのうちの1個に長方形で筆箱を表した）</p> <p>*黒板の磁石（点でうめた円を黄色いおはじき，輪郭だけの円を赤いおはじきとし，左から右に5個並べた列を二列配置した。なお，どちらの列も左端の1個を黄色とし，他の4個を赤とした）</p>	
22～23	絵	削除	見付けたものについて紹介しているイラストを削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
24	3	追加	<p>クマの絵を，次のように追加・修正した。</p> <p>クマの前のお皿にリンゴがのっています。いくつありますか。</p> <p>(ア) *リンゴ2個の絵 2</p> <p>(イ) *リンゴ1個の絵 1</p> <p>*お皿のみの絵 0「わい」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
24	絵	追加	<p>ミカンの絵を，次のように追加・修正した。</p> <p>お皿の上のミカンの数を答えましょう。</p> <p>*原典の絵の左から(ア)～(エ)とした。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
24	絵	追加	<p>動物たちの輪投げの絵を，次のように追加・修正した。</p> <p>イヌとネコとパンダが輪投げをしています。入った輪の数を答えましょう。</p> <p>(イヌ) *輪の絵を2個</p> <p>(ネコ) (何も入らなかった)</p> <p>(パンダ) *輪の絵を1個</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
25	3	変更	鉛筆と消しゴムの絵を，鉛筆だけで横一列，消しゴムだけで横一列に配置した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

25	3	変更	<p>ラビちゃんのセリフを次のように変更し、ブロックと空欄記号の順序を入れ替えた。</p> <p>ラビちゃん「ブロックを使って数を数えよう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
25	7	追加 削除	<p>数字カードを比較する問いにおいて、数字カードを省略し、数のみを記した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
26~27	絵	変更	<p>ブロックを横向きとした。以下、同様とする。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p> <p>点字は横方向に読むことが基本であるため、第1学年では原則、横向きの図にしている。</p>
26	絵	削除 変更	<p>黒板で数字カードを並べているイラストを削除し、次のように変更した。</p> <p>ゆいさんが数字を順に並べています。残りの数字も並べましょう。</p> <p>0 1 2 3 ・ ・ 5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 10 (残りのカード)</p> <p>4 9 8 6</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
28	絵	変更	<p>原典のイラストを文章化し、分割して掲載した。また、動物や物などのイラストの近くに名前を追加し、イラストは簡略化し、触りやすい配置にした。</p> <p>(1 ページ目)</p> <p>2 なんばんめ</p> <p>動物たちがかけっこをしています。</p> <p>先生「イヌは前から何番目ですか。」</p> <p>ゆうと「イヌは前から2番目です。」</p> <p>ラビちゃん「後ろからだど何番目かな。」</p> <p>*ゴールテープを表す線を、左側に縦にかき、ゴールテープを持っているネズミを省略した。</p> <p>*ゴールに近いところを(前)とした上で、パンダ・イヌ・カバ・キツネ・ヒツジの順に横に絵をかき、ヒツジの後に(後ろ)と入れた。</p> <p>(2 ページ目)</p> <p>かけっこのコースの外側に椅子が5個あります。椅子の上に物が1個ずつのっています。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>木が立っています。木の枝にトリが4羽とまっています。</p> <p>つばさ「水筒は左から何番目ですか。」</p> <p>ゆい「スズメは上から何番目ですか。」</p> <p>(椅子の上ののっているもの)</p> <p>* (左) とかいた上で、帽子・タオル・ハンカチ・水筒・鉢巻の順に横に絵をかき、椅子を省略した。</p> <p>(3ページ目) * 2ページ目と見開き</p> <p>(木の枝にとまっている鳥)</p> <p>*木をかいた上で、上の枝から、フクロウ・ハト・スズメ・カラスとした。フクロウ以外はすべて三角形で表した。</p>	
30		追加	<p>子どもと車の絵には、いずれも絵の前後に(前)(後ろ)の言葉を追加し、トマトの絵には、絵の左右に(左)(右)の言葉を追加した。</p>	
30	絵	追加	<p>子どもと車の絵には、いずれも絵の前後に(前)(後ろ)の言葉を追加し、トマトの絵には、絵の左右に(左)(右)の言葉を追加した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
30		変更	<p>「色をぬりましょう。」を「印をつけましょう。」に変更した。</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。
31	2	文章化	<p>写真の状況やおはじきの説明を追加し、次のように表した。</p> <p>(1ページ目)</p> <p>3 いくつといくつ</p> <p>袋の中に青いおはじき4個と赤いおはじき4個を入れました。</p> <p>ラビちゃん「赤いおはじきにシールを貼ったよ。」</p> <p>○ 青いおはじき</p> <p>● 赤いおはじき</p> <p>ラビちゃん「❀の形のおはじきもあるね。」</p> <p>(2ページ目)</p> <p>おはじきを5個取りましょう。</p> <p>かえでさん、ひろとさん、なつきさん、しょうたさんがおはじきを5個ずつ取りました。</p> <p>青いおはじきは何個ですか。○</p> <p>赤いおはじきは何個ですか。●</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>(3ページ目)</p> <p>(4人が取ったおはじき)</p> <p>*かえで、ひろと、なつき、しょうたが取ったおはじきを、それぞれ枠に囲み、3個と2個で横二列に配置した。</p> <p>(4ページ目)</p> <p>わかりやすく並べてみましょう。</p> <p>(かえでさんのおはじき)</p> <p>*おはじきの写真を左・右ではなく、上・下に配置した。</p>	
32～37	1～2	変更追加	各ページの最初の数字カード・数カードと、次の文章の順序を入れ替え、文章の最初に1.～5.の番号をつけた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
33	2	変更	<p>「数をあてましょう。」の文章を変更した上で、子どもたちのやりとりを表すイラストを文章化した。また、あわせて6になるように左右のおはじきを線で結ぶ活動は省略し、左右で6になるようにおはじきの順序を変更した。</p> <p>(1ページ目)</p> <p>2. おはじきが6個あります。隠した数をあてましょう。</p> <p>机の上に青いおはじきが6個あります。</p> <p>あゆみ「隠した数をあててね。」</p> <p>あゆみさんが手の中におはじきを隠していました。</p> <p>机の上におはじきが2個あります。</p> <p>あゆみ「6は2といくつ。」</p> <p>*6個の円を横一列に配置</p> <p>(2ページ目)</p> <p>ラビちゃん「6はいくつといくつかな。」</p> <p>*おはじきの絵</p> <p>2と4</p> <p>1と5</p> <p>3と3</p> <p>5と1</p> <p>4と2</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

34	2	追加 変更	<p>「7にしましょう。」の文章を変更した上で、子どもたちのやりとりを表すイラストを文章化した。また、あわせて7になるように上下のサイコロを線で結ぶ活動は省略し、左右で7になるようにサイコロの順序を変更した。</p> <p>(1ページ目)</p> <p>3. 2個のさいころを投げます。7にしましょう。 だいきさんとえみさんが2個のサイコロを投げます。</p> <p>だいきさん「7は4といくつかな。」 えみ「7は4と3だね。」</p> <p>*4と3のサイコロの絵</p> <p>(2ページ目)</p> <p>ラビちゃん「7はいくつといくつかな。」</p> <p>*サイコロの絵</p> <p>4と3 2と5 1と6 6と1 5と2 3と4</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
34~36		追加	<p>各ページのブロックの図の前に、次の文章を追加した。</p> <p>ラビちゃん「ブロックで考えてみよう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
35	2	文章化	<p>子どもたちのやりとりを表すイラストを文章化した。</p> <p>机の上にたくさんの数カードがあります。ゆかさんとかずやさんが、2枚のカードをあわせて8になるように考えています。</p> <p>ゆか「8は3と5」</p> <p>*3と5の数カード</p> <p>また、あわせて8になるように数カードを作る作業の前に、次の文章を追加した。</p> <p>ラビちゃん「8はいくつといくつかな。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
36	2	文章化	<p>子どもたちのやりとりを表すイラストを文章化した。また、あわせて9になるように上下の数字カードを線で結ぶ活動は省略し、左右で9になるように数字カードの順序を変更した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>(1 ページ目)</p> <p>5. 9 はいくつといくつですか。</p> <p>机の上にたくさんの数字カードがあります。えみさんとこうたさんが、2枚のカードをあわせて9になるように考えています。</p> <p>えみ「9は5といくつかな。」</p> <p>(2 ページ目)</p> <p>ラビちゃん「9はいくつといくつかな。」</p> <p>*数字カードの図</p> <p>1と8 2と7 6と3</p> <p>5と4 3と6</p>	
37	2	文章化	<p>子どもたちのやりとりを表すイラストを文章化した。</p> <p>さとしさんとあゆみさんは机の上に10個のブロックを並べました。さとしさんがブロックを紙で隠しました。</p> <p>さとし「10は2といくつかな。」</p> <p>*3と5の数カード</p> <p>また、あわせて8になるように数カードを作る作業の前に、次の文章を追加した。</p> <p>ラビちゃん「8はいくつといくつかな。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
38	セリフ	削除	ゆいのセリフの模式図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
39	2	文章化	<p>先生と子どもたちの学習の様子を、次のように文章化した。</p> <p>先生が数字カードを1枚出します。</p> <p>先生のカードといくつで10になるか答えましょう。</p> <p>先生「7」</p> <p>つばさ「10は7と…」</p> <p>あゆみ「3」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
39	図	変更	<p>25個の数字の枠の中の囲みを省略し、枠の後に、次の文章を追加した。</p> <p>ラビちゃん「1段目の5と2段目の5で、斜めに10になるね。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

	39		変更	トランプでゲームをしているイラストを省略し、文章を「トランプなどで、10をつくるゲームをしましょう。」と変更した。	編集の具体的方針(11)に基づく。 ゲームのルールは一緒に考えたり、原典のゲームの紹介を入れたりしてもらいたい。
	40	8	変更	「□にあてはまるかずをかきましょう。」を「□にあてはまる数を答えましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(11)に基づく。
	41	4	文章化	バスケットボールを片付けている様子のイラストはかごとボール以外を省略し、次のように文章化した。 あゆみさんとさとしさんがバスケットボールをかごに入れようとしています。あゆみさんは1個、さとしさんは2個もっています。 あわせると□こ	編集の具体的方針(4)に基づく。
	41	6	文章化	水槽に金魚を入れている様子のイラストは水槽の上に金魚を整列させて描き、他は省略して、次のように文章化した。 二人の子どもが金魚鉢から水槽に金魚を入れていません。左の子は3匹、右の子は2匹入れます。 ラビちゃん「金魚の絵の上にブロックを置いて考えてみよう。」 *金魚と水槽の絵	編集の具体的方針(4)に基づく。
	42	1	省略・変更	3と2をあわせると5になるという説明について、水槽の絵や手を省略し、ブロックのみで表した。また、ブロックと文章の順序を入れ替えた。 ブロックなどの図と文章の順序は、これ以降、文章・ブロックなどの図という順序で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	42	3	追加	式と答えのあとに、墨字の「+」と「=」の表記に関する説明を追加した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
	42	4	変更	「あわせるとなんこになりますか。」と「次の図で、りんごをあわせるとなんこになりますか。」と変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。 図の説明が書かれていない文章については、以下、同様に追加した。

	43	4	変更	ノートの○印を，メの字で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	43	6	追加	ブロックを動かすイメージ図の上に，(ブロックを使って考えると)を追加した。 ブロックの図だけが挿入されている場合には，以下，同様に追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	44	絵	変更	赤いあめと白いあめ，しろねことらねこの絵をそれぞれ一列ずつに配置した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	45	絵	文章化	バスケットボールを片付けている様子のイラストはかごとボール以外を省略し，次のように文章化した。 かごの中に，バスケットボールが2個入っています，さとしさんが1個もってきました。 ふえると□こ	編集の具体的方針(4)に基づく。
	45	絵	文章化	水槽に金魚を入れている様子のイラストは水槽と金魚鉢の中に金魚を整理させて描き，他は省略して，次のように文章化した。 金魚が水槽に5匹入っています。金魚鉢には2匹入っています。はるかさんが金魚鉢から金魚を水槽にうつしました。 ラビちゃん「金魚の絵の上にブロックを置いて考えてみよう。」 *水槽の中に5匹の金魚の絵 *金魚鉢の中に2匹の金魚の絵	編集の具体的方針(4)に基づく。
	46	1	省略・変更	5あって2ふえると7になるという説明について，水槽の絵や手を省略し，ブロックのみで表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	48	7	変更	子どもの絵について，縄跳びを省略し，7人と3人をそれぞれ横一列に配置した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	48	3	追加・変更	問題文の後に，(友達の作った問題)を追加し，それぞれの問題について，問題の後に絵をかいた。絵は，4と3だけをきちんと教えられるように簡略化した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

49	4	変更	<p>「こたえがおなじカードをあつめよう」をア. , 「たしざんビンゴをしよう」をイ. とした。「こたえがおなじカードをあつめよう」では、まだカードが並べられていない部分に白紙のカードを入れた。</p> <p>また、ビンゴの例では、9に印をつけている部分を、メの字を書くことで表した。</p>	<p>実際にビンゴをする場合には、数字の前にシールを貼るとよい。シールが貼れるだけ数字の間をあけて作るとよい。</p>																		
50	1	変更・文章化	<p>動物たちが球を投げている様子のイラストを省略し、次のような文章にした。</p> <p>タヌキとクマとキツネとネズミが、球を投げてかごに入れるゲームをしています。球を2回投げます。</p> <p>入った球の数をあわせると何個になりますか。</p> <p>かごの中は次のようになりました。</p> <p>*タヌキ、クマ、キツネについて、かごの中の様子を表した図（以下参照）</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>タヌキ</td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>クマ</td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○○○</td> <td>空のかご</td> </tr> <tr> <td>キツネ</td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空のかご</td> <td>○○</td> </tr> </table> <p>入った球の数をあわせると…</p> <p>タヌキ $2 + 1 = \square$</p> <p>クマ $3 + 0 = \square$</p> <p>キツネ $\square + 2 = \square$</p>	タヌキ	1回目	2回目		○○	○	クマ	1回目	2回目		○○○	空のかご	キツネ	1回目	2回目		空のかご	○○	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
タヌキ	1回目	2回目																				
	○○	○																				
クマ	1回目	2回目																				
	○○○	空のかご																				
キツネ	1回目	2回目																				
	空のかご	○○																				
50	8	変更	<p>練習問題1の文章を次のように変更した。</p> <p>ネズミのかごに入った球の数をあわせる式は $0 + 3$ となりました。</p> <p>$0 + 3$の式になるようにかごの中に印をつけましょう。</p> <p>$0 + 3 = \square$</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>ネズミ</td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> </table> <p>*空のかごの図</p>	ネズミ	1回目	2回目																
ネズミ	1回目	2回目																				

51	4	文章化	<p>バスケットボールをかごから取り出している様子のイラストはかごとボール以外を省略し、次のように文章化した。</p> <p>かごの中にバスケットボールが3個入っています。 えみさんが1個とります。 えみ「1個とると…」 のこりは□こ</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
41	6	文章化	<p>水槽から金魚をすくっている様子のイラストは金魚とあみのみを整列させて描き、他は省略して、次のように文章化した。</p> <p>水槽に金魚が5匹入っています。こうたさんが2匹すくおうとしています。 こうた「2匹とるよ。」 ラビちゃん「ブロックをつかって考えてみよう。」 *金魚とあみの絵</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
52	1	省略・変更	<p>5から2をひくと3になるという説明について、水槽の絵や手を省略し、ブロックのみで表した。また、ブロックと文章の順序を入れ替えた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
52	4	追加	<p>式と答えのあとに、墨字の「一」の表記に関する説明を追加した。</p>	編集の具体的方針(13)に基づく。
52	5	変更	<p>「のこりは何台になりますか。」の文章の前に「駐車場に車が3台とまっていた。1台で出ていきました。」を追加した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
53	2	追加・文章化	<p>色紙の問題に(ア)、テントウムシの問題に(イ)をつけ、イラストを次のように文章化した上で、色紙とテントウムシのみを図で表した。</p> <p>(ア) 女の子が色紙を7枚もっています。3枚男の子にあげると…</p> <p>(イ) 葉っぱにテントウムシが9匹とまっていた。4匹飛んでいくと…</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
53	4	変更	<p>ノートの○印を、メの字で表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
55	1	削除	<p>ブロックを動かす様子を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

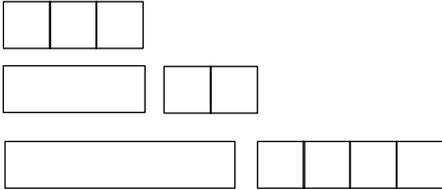
	55	絵	変更	練習問題4の絵は、8枚のカードのみを横一列に配置した。なお、裏は点でうめ、表は輪郭だけとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	56	1	変更・文章化	<p>動物たちが缶たおしをしている様子のイラストを省略し、次のような文章にした。</p> <p>サルとリスとイノシシがボールで缶を倒すゲームをしています。はじめに、缶を3本立てておきます。ボールを転がして缶をたおします。</p> <p>残りは何本ですか。</p> <p>結果は次のようになりました。</p> <p>*サル、リス、イノシシについて、結果を表した図(以下参照、たおれた缶は横長の長方形、立ったままの缶は縦長の長方形)</p> <p>サル 2本たおれると</p> <p>リス 3本たおれると</p> <p>イノシシ たおれないと</p> <p>サル $3 - 2 = \square$</p> <p>リス $3 - \square = \square$</p> <p>イノシシ $3 - 0 = \square$</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	57	2	追加	<p>サッカーボールとバスケットボールのかごのイラストに、次の文章を追加した。</p> <p>かごが二つあります。左のかごにはサッカーボールが3個入っています。右のかごにはバスケットボールが2個入っています。</p> <p>ちがいは□こ</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	57	4	追加・削除	<p>玉入れのイラストをかごと玉だけにし、かごは水平にした。また、文章を追加し、次のように表した。</p> <p>玉入れをしました。かごに入った玉を数えます。</p> <p>赤い玉は白い玉より何個多いでしょうか。</p> <p>*赤玉と白玉のかごの絵</p> <p>ブロックを使って比べてみると…</p> <p>*ブロックの絵</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

60	3	追加・ 変更	<p>問題文の後に、(友達の作った問題)を追加し、それぞれの問題について、問題の後に絵をかいた。絵は、数をきちんと数えられるように簡略化した。</p> <p>また、ゆうとの問題のあとに次の文章を追加し、最後のイラストは、子どもたち(帰ろうとしている子どもとベンチに座っている子どもをそれぞれ横一列に配意)、タンポポとチューリップのみを示した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
61	4	文章化	<p>子どもたちがひきざんカードを使って学習している様子を、次のように文章にした。</p> <p>あおいさんがカードの表をみて、引き算の練習をしています。</p> <p>カードの表を上にして、カードを重ねて机に置きます。</p> <p>あおいさんがカードを上からとります。</p> <p>あおいがとったカード 9-1 あおい「8」</p> <p>つばささんとさくらさんが二人で引き算の練習をしています。</p> <p>つばささんがカードをひいて問題を出します。</p> <p>つばさ「7-3は…」 さくら「4」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
61		追加	<p>「こたえがおなじカードをあつめよう」をア.、「カードとりをしよう」をイ.とした。</p> <p>また、「こたえがおなじカードをあつめよう」では、まだカードが並べられていない部分に白紙のカードを入れた。</p> <p>「カードとりをしよう」では、イラストを次のように文章で表した。</p> <p>カードを表にして、近くに並べたり、手に持ったりしておきます。</p> <p>一人が答えをいいます。その答えになる式のカードを探しましょう。</p> <p>さくら「4になるカードを探してください。」 あおいとカルロスがカードを探しています。</p> <p>ラビちゃん「〇〇ページのびんごをひきざんでやってもいいね。」(〇には点字教科書のページ数が入る)</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

	62	3	変更	(ア)(イ)の問題のあとにあるラビちゃんのセリフを問題の前に移動させ、「ブロックやずをつかうと」を「ブロックなどをつかうと」に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	63	絵	削除	おはなしを作っている写真や作った絵を省略し、4+2のおはなし、6-4のおはなしの順にお話だけを示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。 授業では実際にブロックやシールなどを使い、お話の状況を物で表現する活動を入れるとよい。
	64	絵	削除	たしかめもんだいのイラストをすべて削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。 練習問題であるため、図を用いずに考える練習も必要と考えた。状況に応じてブロックなどを活用してもらいたい。
	65	図	変更	ゲームのしかたを最初にかき、●をア. ~ウ. とした。また、イ. の「答えの数だけ進む」を「答えの数だけ時計回りに進む」と変更した。 さらに、マス目を四角に変更し、マス目以外のイラストを削除した。	編集の具体的方針(2)(4)に基づく。
	66	1	変更	「さいたあさがおの花を1つずつカードにかきました。」を「さいたあさがおの花の色を聞いて、曜日と色を1まいずつカードにかきました。」に変更した、 また、あさがおのイラストを省略し、曜日と色だけを書いた13枚のカードで表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	67	2	変更 削除	「カードを並べましょう。」を「前のページのようなカードを作って次のページの台紙に並べましょう。」に変更し、曜日ごとにカードを横に並べられる枠を入れた。なお、巻末の付録は削除した。	編集の具体的方針(11)に基づく。 カードと台紙を、児童が扱いやすい大きさで作ってもらいたい。
	67	6	変更	「カードを色でわけて、1の台紙の裏に並べましょう。」を「カードを色でわけて、カードの数だけ印をつけましょう。」に変更し、水色とピンクのそれぞれにメの字を10個ずつ記した。	編集の具体的方針(11)に基づく。 メの字の上にシールを貼ったり、メの字を消したりしてもよい。カードを並べる台紙を作ってカードを並べてもよい。

68	6	変更	(ア)の野菜のカードをイラストではなく野菜の名前を書いたカードとし、野菜ごとに横に並べた。	編集の具体的方針(4)に基づく。 点字は左から右に読むという特性を考慮し、第1学年では縦ではなく横に並べることにした。
69	2	変更	(イ)のグラフに色をぬる活動を、メの字に印をつける活動に変更し、「野菜の数だけ色を塗りましょう。」を「野菜の数だけ印をつけましょう。」に変更した。	編集の具体的方針(11)に基づく。
70	絵	削除 追加	ふくしゅうのイラストをすべて削除し、2の③④を次のように表した。 3. 次のすすむさんとえみさんのお話で、あさがおはあわせて何個さいていますか。 すすむ「あさがおの赤い花が4個さいているよ。」 えみ「あさがおの青い花が6個さいているね。」 4. まえのすすむさんとえみさんのお話で、どちらが何個多いでしょうか。	編集の具体的方針(4)に基づく。
71	絵	追加	ひまわりの絵の前に、「花壇にひまわりが咲きました。」と追加し、ひまわりは数えやすいように配置した。以下、たくさんのもので数える場面では、縦横を整列させ、触って数えやすいように配置した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
72		削除	ラビちゃんの数字カードのイメージ図を削除した。	
77		文章化	子どもたちが学習している様子を表したイラストを次のように文章化した。 つばさ「10と4でいくつ。」 ゆいさんは14のカードを出そうとしています。 さくら「18は10といくつ。」 カルロスは1のカードを出そうとしています。	
77	4	削除 修正	7のイラストを削除し、次のように修正した。 数字を小さい順に並べています。固法の数字も入れて、小さい順に数字を書きましょう。 (並べた数字) 11 12 13 … 15 … … … … 20	

			(残りの数字) 14 18 16 19 17	
78		変更	<p>かずの線と 8 の問題を見開きに配置し、8 の問題のあとにかずの線を入れた。また、かずの線は、原典の一番下の線を最初にかいて(ア)とし、空欄に数を書き込むことができないため、メモリをすべて入れた線を(イ)としてすぐ下に入れた。そのあと、カエルとネコが進んだ位置を表す線を入れた。</p> <p>そのため、8 (2)は次のように変更した。</p> <p>(ア)の線のメモリの数字をすべていまいしょう。 ラビちゃん「(イ)の線と同じになったかな。」</p>	
85		追加	<p>単元の最初に、次のような時計の説明を追加した。</p> <p>時計には、まるい文字盤と長い針と短い針があります。</p> <p>文字盤には、大きいメモリが12個あり、1から12の数字が書いてあります。一番上のメモリが12です。 (このあと、文字盤の数字のメモリの図を入れた。)</p>	
85～87		修正	<p>イラストで表されている生活の様子を次のように言葉にし、時計だけを図で表した。</p> <p>まみさんの1日 (ア) 朝ご飯を食べます。 (イ) 歯を磨きます。 (ウ) 花に水をあげます。 (エ) 公園で遊びます。 (オ) 昼ごはんの片づけを手伝います。 (カ) 図書館で本を読みます。 (キ) 学校の準備をします。</p>	
85	1	修正	<p>「時計の読み方」について、次のように説明した上で、時計を図で表した。</p> <p>(ア) 7時 短い針が7 長い針が12</p>	

			<p>(イ) 7時半 短い針が7と8の間 長い針が6 ラビちゃん「短い針がまだ8になっていないから8時半ではないんだね。」</p> <p>(ウ) 8時 短い針が8 長い針が12</p>	
86	1	修正	先生と子どもたちが学習している様子を表したイラストを削除し、セリフと時計の図だけとした。	
89	1	修正	<p>イラストの前に1の問題文を移動させ、イラストは削除し文章のみとした。また、文章のあとに、ブロックの図を入れたが、次のような図で表した。</p> 	
91	2	修正	2のイラストに併記された文章を表したあと、簡略した図を入れた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
92	2	修正	2のイラストに併記された文章を表したあと、簡略した図を入れた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
93	3	修正	4のイラストを、リンゴの図、花壇の図、子どもたちの図に分け、簡略化して示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
94	4	変更	○で表した図をメの字に変更し、横に2個ずつ5行で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
95	10	変更	<p>4の問題文を、次のように変更した。</p> <p>8個のブロックを同じ数ずつ分けました。次の(ア)と(イ)のブロックの図は、あとの(カ)(キ)のどちらの式になりますか。</p> <p>ブロックの図に(ア)(イ)を付し、</p> <p>(カ) $2 + 2 + 2 + 2$</p> <p>(キ) 4×2</p> <p>とした。</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。

96	絵	削除	音楽室の様子を表したイラストを削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
97	写真	変更	子どもたちの持っている鉛筆、ハンカチ、縄跳びのだけを簡略した図で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
98	写真	追加	ハンカチの縦の長さとの横の長さを比べている写真については、ハンカチを折る前の図で下側の横の線を二重線で表したあと、折り曲げた図を入れた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
98	写真	追加	縄跳びの長さの比較について、次の文章を追加した。また、縄跳びは左から右に表した。 一人の友達が片方の端を揃えて持つ。もう一人がピンと張ってもう片方をもって比べる。	編集の具体的方針(4)に基づく。
98	写真	変更	練習問題1の写真を削除し、「点字の教科書と墨字の教科書を比べてみると…」という文章で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
99	1	追加	2の問題文の最初に、「次の本で、」を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
99	8	追加	練習問題2のあとに、次のセリフを追加した。 ラビちゃん「教室の机と入り口でも考えてみよう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
100	1	変更	子どもたちが机の長さを測っている写真を削除し、次の文章で表した。 りえさんとゆうじさんは学校で使っている机の横の長さを調べています。 りえ「おやゆびと人差し指の間をめいっぱい伸ばしたときのいくつ分かを考えてみよう。」 ゆうじ「鉛筆の長さのいくつ分かを考えてみよう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
100	3	変更	(1)の文章を次のように変更した。 自分の机の縦と横の長さを調べましょう。	編集の具体的方針(11)に基づく。
100	11	変更	練習問題3の文章を次のように変更した。 あおいさんは、はがきの縦と横の長さを消しゴムを使って調べていました。次の図のあおいさんの調べ方について話し合みましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
101	写真	修正	練習問題4の写真を図で示し、すべて横向きとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。

101	写真	修正	練習問題6の写真を図で示し、クリップは線分で表した。また、図の前に（同じ長さのクリップをつないで比べた図）という言葉を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
102	写真	修正	2枚のハンカチを重ねて比べる写真を図で表し、2枚を揃える箇所を左下ではなく左上とした。以下、重ねて広さを比較する図については、左上を揃えることとする。	編集の具体的方針(4)に基づく。
103	1	追加	2の文章の最初に「同じ大きさのマットをつないで敷物を作りました。」を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
105	絵	修正	ひきざんカードを並べている絵を削除し、次のように文章化した。 ゆい「7-6のカードは8-6のカードの左に置こう。」 つばさ「どうしてそこに置くの。」 ゆい「それはね…」 このあとに、机の上に描かれているカードを図で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
108 ~111	写真	変更	黒板の写真の中では、子どもたちの考えのみを残した。子どもたちの考えは、セリフを先に示したあとに図を表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
111	図	変更	練習問題1で○で考えている図を、メの字に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
112	図	変更	「ノートにまとめよう」のページを次のように表した。 ノートにまとめよう ラビちゃん「学習したことをノートにまとめていくと、新しい学習や振り返りに役立つよ。」 ノートには次のようなことを書くといいね。 日付 問題 自分の考え まとめ ラビちゃん「自分の考えでは、式や言葉を使って考えを書くといいね。大事なことをまとめるときは、見直したときに分かりやすいように、丁寧に書いておこう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。

			(ノートの例)	
			<p>10月25日</p> <p>(問題)</p> <p>9人遊んでいました。4人来ました。</p> <p>みんなで何人になりましたか。</p> <p>(式) $9 + 4$</p> <p>(自分の考え)</p> <p>9に1を足して10</p> <p>残りは3</p> <p>10と3を足して13</p> <p>$9 + 4 = 13$</p> <p>答え 13人</p> <p>(まとめ)</p> <p>$9 + 4$のような計算は、10を作ると計算できる。</p>	
113	図	削除	「8 + 3のけいさんのしかた」の図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
113	セリフ式	削除	ラビちゃんが考えている模式図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
114	式	変更	<p>ゆうとの考えている模式図を、次のように文章化した。また、ゆうとの考えのあとに、ゆいの考えを示した。</p> <p>3を1と2に分ける。</p> <p>2と8を足すと10</p> <p>1と10を足す。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
116	4	変更	<p>2の問題を、次のように変更した。</p> <p>次の(ア)(イ)(ウ)(エ)の式と答えが同じになる式を、あとの(カ)(キ)(ク)(ケ)から選びましょう。</p> <p>(ア) $3 + 9$</p> <p>(イ) $7 + 4$</p> <p>(ウ) $8 + 4$</p> <p>(エ) $6 + 8$</p> <p>(カ) $9 + 6$</p> <p>(キ) $8 + 3$</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。

			(ク) 0 + 14 (ケ) 6 + 6	
116	14	変更	5の問題を次のように変更し、ノートの絵を削除した。 4 + 7の計算の仕方を言葉で説明しましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
118	写真	追加	ゆいをつばさの比べ方について、それぞれ次の文章を追加し、写真を簡略図で表した。 ゆいの考え (イ)の中の水を、(ア)の容器に… つばさの考え 同じ大きさのコップを用意して…	編集の具体的方針(4)に基づく。 「かさくらべ」の単元は、教科書の図は補助的な扱いにしかならないので、実物を用いた学習が重要となる。
119	1	追加	2の文章の最初に「(サ)と(シ)の容器では、」を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
119	写真	文章化 変更	子どもたちが水をカップに入れている写真は、カップの図だけを示し、次のように文章で表した。 同じ大きさのカップをいくつか使って水を移しました。	編集の具体的方針(4)に基づく。
122	セリフ	追加	ゆいとカルロスが考えている図に、それぞれ次の文章を追加した。 ゆいの考え ブロックを使って考えると… カルロスの考え 図を使って考えると…	編集の具体的方針(4)に基づく。
123	図	削除	「11-8のけいさんのしかた」の図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
123	セリフ 式	削除	ラビちゃんが考えている模式図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
127	図	削除	1の図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
128	絵	文章化	だがしやさんのイラストを、次のように文章と時計の図で表した。 けんとさんが駄菓子屋さんに行きました。駄菓子屋	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>さんについたときの時計と、駄菓子屋さんで売っているものとその値段をみて、あとの問いに答えましょう。</p> <p>(駄菓子屋さんについたときの時計)</p> <p>* 4時半の時計の図</p> <p>(駄菓子屋さんで売っているものとその値段)</p>	
			<p>めんこ 17円</p> <p>紙風船 20円</p> <p>ラムネ 8円</p> <p>ゼリー 15円</p> <p>チョコレート 5円</p> <p>あめ 12円</p> <p>ドーナツ(2個入り) 10円</p> <p>ドーナツ(3個入り) 15円</p> <p>キャラメル 25円</p>	
129	写真	削除 文章化	<p>子どもたちの学習の様子を表す写真を削除し、次の文章で表した。</p> <p>子どもたちが、お菓子の空き箱、ボール、空き缶、段ボールなどを使っていろいろなものを作っています。</p> <p>けんた「車を作りたいな。」</p> <p>りか「タイヤがいるね。」</p> <p>そうすけ「よく転がる形は…」</p> <p>えり「ポテトチップスが入っていた筒とクッキーの空き箱を使って、高いタワーにしたいな。」</p> <p>あゆむ「クッキーの空き箱を下にしよう。」</p>	<p>編集の具体的方針(4)(11)に基づく。</p> <p>実際に箱などを触りながら学習することが望ましい。</p>
130	写真	修正	<p>つくったものの写真を簡略図で表し、使ったものを言葉で説明した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
130	写真	変更	<p>練習問題1の(ア)(イ)(ウ)の写真を削除し、次のように説明したあと、上から見た図と前から見た図で表した。</p> <p>(ア) さいころのような形</p> <p>(イ) ティッシュペーパーの箱のような形</p> <p>(ウ) ポテトチップスの筒のような形</p>	<p>編集の具体的方針(4)(7)に基づく。</p> <p>立体を平面に表す手段がないため、投影図を用いて表したが、第1学年で投影図を理解することは難しいと考えられる。</p>

	130	写真	変更	<p>練習問題2の(カ)(キ)(ク)の写真を削除し、次のように説明したあと、上から見た図と前から見た図で表した。</p> <p>(カ)さいころのような形 (キ)チョコレートの筒の形 (ク)バターの容器のような形</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	131	1	変更	<p>2の文章および写真、図を次のように変更した。</p> <p>身の回りにあるいろいろな箱や缶、ボールなどを持ってきて、見ている形を集めましょう。</p> <p>例えば、</p> <p>ティッシュペーパーの箱 お茶の空き缶 ボールプールのボール 6個入りチーズの丸い箱 ポテトチップスの筒 ハンドクリームの箱 メロディーボール 入浴剤の箱 コーヒーの箱</p> <p>などを持ってきて、次のどれと同じ仲間かを考えてみましょう。</p> <p>(ア)丸いところがなく、机の上にどのように置いても同じ高さになる形 (イ)丸いところがなく、机の上に置く向きによって高さが変わる形 (ウ)丸いところと平らなところがある形 (エ)平らなところがなく、どのように触っても丸い形</p> <p>* (ア)～(エ)について、それぞれ上から見た図と前から見た図を入れた。</p>	編集の具体的方針(4)(7)に基づく。
	131	セリフ	変更	ラビちゃんのセリフを「大きさなどがちがうけれど、同じ仲間だね。」に変更した。	視覚障害に配慮し、色というキーワードを省略した。
	131	6	変更 削除	練習問題3の問題文を次のように変更し、写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>箱の中にいくつかの形を入れます。箱に手を入れて、一つの形を取ります。よく触ってどのような形か言いましょう。</p> <p>こうた「(イ)のような形です。丸いところがなくて、細長いからです。」</p>	
132	絵	文章化	<p>(1)の斜めからみたイラストを削除し、次のように言葉で表した。また、それぞれのかたちを紙に写した図は示した。</p> <p>(ア) さいころのような形 (イ) ティッシュペーパーの箱のような形 (ウ) ポテトチップスの筒のような形 (エ) 三角の積み木の形</p> <p>ラビちゃん「(エ)の向きを変えると、次のような形も写せるね。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
133	6	変更 削除	<p>練習問題4の文章を「同じ形を見つけましょう。」に変更し、色を塗っている図を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
135	写真	文章化	<p>おはじきつかみをしている写真を削除し、次のような文章で表した。</p> <p>箱の中におはじきがたくさん入っています。ゆいさんとつばささんが片手でおはじきをつかんで取り出しています。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
135	写真	変更	<p>ゆいとつばさのおはじきの写真を、(1)のあとに図で示した。また、おはじきを表す図は数えやすいように配置した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
136	5	追加	<p>かずを説明するために、次の文章を追加し、文章のあとにブロックの図を入れた。</p> <p>ゆいさんのおはじきをブロックで表すと、10のブロックのまとまりが4個と、1のブロックが6個です。</p> <p>ゆいさんのおはじきの数は、46(よんじゅうろく)です。</p> <p>46の4は十の位、6は一の位の数字です。</p> <p>*46を表すブロックの図</p> <p>つばささんのおはじきをブロックで表すと、10のブロックのまとまりが5個です。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>つばささんのおはじきの数は、50（ごじゅう）です。</p> <p>50の5は十の位，0は一の位の数字です。</p>	
138	9	追加	3の文章の最初に，「友達が言った数だけ」を追加した。	
139	1	追加	<p>4の文章を追加し，次のようにした。</p> <p>すすむさんとみかさんは昔遊びをします。はこの中にたくさんのこまが入っています。こまは何個ありますか。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
144 ～145	図	修正	かずの線は，0～40，40～80，80～120 に分けて表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
150	1	追加	<p>単元の最初に次の説明を追加した。</p> <p>時計には，丸い文字盤と長い針と短い針があります。</p> <p>文字盤には，メモリが60個あり，5個ずつで大きいメモリになり，数字が書かれています。</p> <p>*このあと，文字盤の図（何分のメモリ）を入れた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
150 ～151	図	修正	<p>時計の図の前に，（時計と学校の子どもたちの様子）と入れた。また，8時には，「子どもたちが登校する。」と入れた。なお，時計の図には，5分刻みの印だけを付したので，8時27分の図には，「長い針は，25分と30分の間で，少し25分のメモリに近い。」という説明を入れた。（8時52分の図も同様）</p> <p>9時には「授業中にノートを書いている。」，9時15分の図には「授業中に本を読む。」，10時半の図には「休み時間に縄跳びをする。」，11時40分の図には「図工の時間に粘土で動物を作る。」，12時37分の図には「昼食を食べる。」，1時17分の図には「掃除をする。」，2時57分の図には「下校中に友達と別れる。」と入れた。</p>	編集の具体的方針(4)(10)に基づく。
153	5	追加	2の文章を「時計を使って，友達と二人で練習しましょう。」と変更した。	編集の具体的方針(11)に基づく。
153	絵	変更	<p>6時5分頃の時計のイラストを削除し，次の文章を入れた。</p> <p>ゆい「今は6時5分くらいだから…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

154	3	変更	<p>練習問題4を次のように変更した。</p> <p>あとの時計は何時何分ですか。次の(ア)(イ)(ウ)から選びましょう。</p> <p>(ア) 6時50分(6:50)</p> <p>(イ) 10時35分(10:35)</p> <p>(ウ) 11時35分(11:35)</p> <p>ラビちゃん「6時50分を6:50と書くこともあるよ。」</p> <p>*このあと、1～3の時計の図を入れた。</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。
154	絵	削除	「おうちでさんすう」のイラストを削除し、会話だけとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
155 ～160		変更	場面を表すイラストを削除し、ノートなどに○を用いて表した図を、メの字で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
156	7	変更	「場面を図で表すと」を「場面を図で考えると」に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
162	図	変更	色板の色は、点の塗分けによって表現したが、原典教科書では4色用いられているところ、3種類で塗分けたので、隣り合う板が同じにならないように配慮したに過ぎず、何色がどの塗り方と対応しているわけではない。	編集の具体的方針(4)に基づく。
163	セリフ	変更	<p>ゆい、ゆうと、さくらのセリフを次のように変更した。</p> <p>ゆい「2匹の魚は向きが違うけどかたちは…」</p> <p>ゆうと「二つの建物の、壁の部分は並べ方が違うけど…」</p> <p>さくら「2匹のチョウチョは大きさが違うけど形が…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
167	図	変更	ランドセルではなく、ロッカーとし、ロッカーに名前を入れた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
168	図	追加 変更	<p>カードの例は、「1マス進む」「2マス進む」「3マス進む」「右に回る」「左に回る」の5種類すべてを示した。</p> <p>また、進み方の例を示した図は、手前から奥に移動させるようにした。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p> <p>児童の向きと同じ向きにコマを動かせるように配慮した。</p>

169	絵	文章化	<p>おまつりの様子を表した絵を、次のように文章化した上で、活動を先に説明した。</p> <p>ネコたちが、おまつりにやってきました。おまつりには、わなげや、たいやきや、たこやきやがあります。</p> <p>1. 次の(ア)から(エ)の文を読んで、次のページの「おまりの様子」のア. からソ. の中からタマを探しましょう。</p> <p>(ア)タマは白いネコです。 (イ)タマは風船を2個持っています。 (ウ)タマは4時におまつりに来ました。 (エ)タマは店で前から3番目よりも後ろに並んでいます。</p> <p>時計が次のとき、おまつりの様子を書きました。 (時計) 4時の図</p> <hr/> <p>おまつりの様子</p> <p>(わなげや) わなげやさんをやっているネコはブチネコです。 並んでいるネコを前から説明します。 ア. ミケネコが輪投げの輪を持っています。 イ. クロネコが綿あめを持っています。 ウ. トラネコが何も持っていません。 エ. ミケネコが風船を3個持っています。</p> <p>(たいやきや) たいやきやさんをやっているネコはトラネコです。 並んでいるネコを説明します。 カ. クロネコが何も持っていません。 キ. シロネコが風船を2個持っています。 ク. トラネコが何も持っていません。 ケ. ミケネコがかばんをかけています。 コ. シロネコがかばんをかけています。</p> <p>(たこやきや) たこやきやさんをやっているネコはミケネコです。 並んでいるネコを前から説明します。 サ. トラネコが何も持っていません。 シ. クロネコが何も持っていません。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
-----	---	-----	--	------------------

				<p>ス. シロネコが綿あめを持っています。</p> <p>セ. ミケネコが何も持っていません。</p> <p>ソ. シロネコが風船を2個持っています。</p> <p>(お店に並んでいないネコ)</p> <p>風船を1個持っているクロネコとたいやきを1個持っているミケネコが. たいやきやの近くで話をしています。</p> <p>綿あめを1個と風船を1個持っているシロネコが, たこやきやの近くを歩いています。</p> <p>リュックサックを背負い, 綿あめを1個持っているミケネコがたこ焼き屋の列に向かって歩いています。</p>	
				<p>2. 1. のような問題を作って, 友達に出しましょう。</p>	
171	1	変更	<p>5の問題文を次のように変更し, イラストを削除した。</p> <p>4人の子どもが次のように並んでいます。あとの問いに答えましょう。</p> <p>(前) さやか ゆうた かずき はるか</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>	

2年	10, 11	図	削除 追加	<p>ページ上の野菜の絵を削除し, 黒板に貼ったカードの絵は, 読みやすくするために野菜の名前を短く省略して記入し, 縦を揃えて並べて示した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
	12	文	修正	<p>問題文を次のように修正した。</p> <p>「そだてたい野さいと人数を図2のグラフにシールをはってあらわしましょう。」</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
	13, 14	問題 文	修正 追加	<p>問題文「2 さいている花の数についてしらべましょう。めあて ひょうやグラフを読み取ろう。」をP13の図の前に提示したのち, 学校の様子を説明する文章を以下のように追加した。</p> <p>学校には, 花だんがあります。花だんのある場所は, 校舎のそば, 体育館のそば, 校門のそば, そうこのそばの4か所です。そのうち, そうこのそばの花だんには, まだ花はうえてありません。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>

			<p>㊦ 10のくらいの答えは20</p> <p>一の位は、$4 + 3 = 7$</p> <p>$20 + 7 = 27$</p>	
26	図	修正	<p>筆算の仕方の説明は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>4 + 23 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を読みます。</p> <p>4の十の位はない。23は2なので、十の位は2になる。(だから十の位の答えは20)</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>4と23の3をたす。</p> <p>$4 + 3 = 7$</p> <p>一の位は7になる。(だから、一の位の答えは7)</p> <p>(3) 十の位の答えと一の位の答えを合わせて</p> <p>$20 + 7 = 27$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
27	式	修正	<p>(3) つばささんの考えについては、筆算を横書きの式にした。</p> <p>「$30 + 20 = 50$ $5 + 8 = 13$ $50 + 13 = 63$」</p> <p>以後、筆算については、横式に変更した。</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
28	図	修正	<p>筆算の仕方の説明と図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>35 + 28 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>35の3と、28の2をたす。</p> <p>$3 + 2 = 5$</p> <p>十の位は5になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>35の5と28の8をたす。</p> <p>$5 + 8 = 13$</p> <p>十の位に1くりあげる。十の位は5とくりあげた1で6になる。(だから、十の位の答えは6)</p> <p>一の位は3になる。(だから一の位の答えは3)</p> <p>(3) 十の位の答えと一の位の答えを合わせて</p> <p>$60 + 3 = 63$</p> <p>(4) $35 + 28 = 63$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
30	絵	削除 追加	<p>1の絵を削除し、文章で説明をした。</p> <p>「あおいさんとゆうとさんは、2人でぼうのつかみどりをしました。あおいさんは、21本つかみました。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			ゆうとさんは、17 本つかみました。2 人合わせると、何本つかみましたか。」	
32	図	削除 修正	4 ㊸と㊹と㊺があるが、㊺は筆算なので削除し、㊸と㊹の 2 択とした。㊸については、図を文章化した。 「43 は 40 と□に分けられます。 25 は□と 5 に分けられます。 40 と□をたすと 60 □と 5 をたすと 8 60 と 8 を足すと□」	編集の具体的方針(9)に基づく。
33	絵	削除 追加 修正 修正 削除	絵を説明する文章を挿入した。 「えいとさんとりこさんがおはじきをつくえの上にならべています。」 おはじきは○で表し、10 ごとのまとまりがわかるよう整列して示した。 あおいの考えは、文章化した。 「39 を 30 と 9 に分けて、9 から 9 をとるという方法で考えたよ。足し算のときのようにくらいが同じ数どうしを計算すればいいね。」 さくらの言葉は、ゆうとと同じ意味なので削除する。	編集の具体的方針(4)に基づく。
34	図	修正	2 ゆいの考えを文章化した。 「39 を 30 と 9 に分けて考えたよ。くらいが…」	編集の具体的方針(4)に基づく。
36	絵	削除 修正	黒板の板書を見ながら話し合っている様子を文章で説明した。 「ゆいさんとつばさんは、黒板に貼ってあるあおいさんとカルロスさんの考えをもとに話し合っています。」 あおいの考えはすべて文章化した。 「39 を 30 と 9 に分ける。 24 を 20 と 4 に分ける。 30 から 20 をひいて□ 9 から 4 をひいて□ 合わせて□」	編集の具体的方針(4)に基づく。
37	図	削除 修正	筆算の仕方の説明と図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。	編集の具体的方針(9)に基づく。

				<p>39-24 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>39 の 3 から 24 の 2 をひく。</p> $3 - 2 = 1$ <p>十の位は 1 になる。</p> <p>(だから十の位の答えは 10)</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>39 の 9 から 24 の 4 をひく。</p> $9 - 4 = 5$ <p>(だから、一の位の答えは 5)</p> <p>(3) 十の位の答えと一の位の答えを合わせて</p> $10 + 5 = 15$ <p>(4) $39 - 24 = 15$</p> <p>引き算の筆算の形を図で示し、次のように説明を挿入した。</p> <p>「39-24 は、次のようにかいて計算することがあります。」図挿入</p>	
39	図	修正	<p>(3)のあおいの考えを文章や式で表す。</p> <p>あおいの考え</p> <p>45 を 30 と 15 に分ける。</p> <p>(1) 十の位 $3 - 1 = 2$</p> <p>(2) 一の位 $15 - 7 = 8$</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。	
40	図	削除 修正	<p>筆算の仕方の説明と図、ラビちゃんの言葉は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>45-17 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>45 の 4 から 17 の 1 をひく。</p> $4 - 1 = 3$ <p>十の位は 3 になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>5 から 7 は引けないので、十の位から 1 繰り下げる。</p> <p>1 繰り下げたので、十の位は $3 - 1 = 2$ (だから、十の位の答えは 20)</p> <p>一の位は $15 - 7 = 8$ (だから、一の位の答えは 8)</p> <p>(3) 十の位の答えと一の位の答えを合わせて</p> $20 + 8 = 28$ <p>(4) $45 - 17 = 28$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。	

42	図	修正	<p>筆算の仕方の説明と図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>40-27の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>40の4から27の2をひく。</p> $4 - 2 = 2$ <p>十の位は2になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>0から7は引けないので、十の位から1繰り下げる。</p> <p>1繰り下げたので、十の位は$2 - 1 = 1$（だから十の位の答えは10）</p> <p>一の位は$10 - 7 = 3$（だから、一の位の答えは3）</p> <p>(3) 十の位の答えと一の位の答えを合わせて</p> $10 + 3 = 13$ <p>(4) $40 - 27 = 13$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
43	図	修正	<p>筆算やブロックの図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>42-37の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>42の4から37の3をひく。</p> $4 - 3 = 1$ <p>十の位は1になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>2から7は引けないので、十の位から1繰り下げる。</p> <p>1繰り下げたので、十の位は$\square - 1 = 0$（だから十の位は0）</p> <p>一の位は$\square - 7 = 5$（だから、一の位の答えは5）</p> <p>(3) $42 - 37 = 5$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
44	絵	修正	1. (1)の問題の絵は、○は塗りつぶしのないものとあるものに分けた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
46	式 図	修正	<p>1. ひっ算は横書きの式にした。</p> <p>4. ㊸と㊹と㊺があるが、㊺はひっ算なので削除し、㊸と㊹の2択とした。㊸については、図を文章化する。</p> <p>㊻ 67は60と□に分けられる。</p>	編集の具体的方針(4)(9)に基づく。

			<p>54は□と4に分けられる。</p> <p>60から50を引いて10。</p> <p>□から4を引いて3。</p> <p>合わせて13。</p>	
47	絵	削除 挿入	<p>絵を削除し、様子を文章で表した。また、しおりの長さの違いが分かるようにしおりを単純化して表した図を挿入した。</p> <p>「りょうとみおが電話で話をしています。」</p> <p>「次の日、2人がつくったしおりを学校に持ってきて見せ合うと…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
49	図	修正	<p>cmは、点図でそのまま表した。点字での単位の書き方については、丁寧に指導する必要がある。</p>	編集の具体的方針(4)(13)に基づく。
50	文	修正	<p>巻末のテープ図については、削除した。そのため、指導する際は、扱いやすい厚紙等で触ってわかるようなテープを作成する必要がある。</p> <p>ラビちゃんの言葉を次のように修正した。</p> <p>「1cmのめもりがついたテープをつくってはかるう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
52	図	修正	<p>mmは、点図でそのまま表した。</p> <p>図12は、視覚障害者用30cmものさしと同じように5mmの目盛りを入れた。</p>	編集の具体的方針(4)(10)(13)に基づく
53	文	修正	<p>長さのはかり方については①の絵は削除し、②は次のように文章を変更した。</p> <p>② 目もりをさわって読む。</p> <p>大きいめもりを数えて4cm。小さいめもりは5mmをちょっとだけすぎているからだいたい6mm。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
54	図 図	修正 修正 挿入	<p>(1)の問題の図は削除し、文で表す。</p> <p>3cm4mmは□mmと4mm</p> <p>直線のひき方については、P55の「めあて ものさしを使って直線をひこう」の後に挿入した。ラビちゃんの言葉を補足説明として挿入した。</p> <p>直線の引き方</p> <p>①レーザーライター用紙の上に定規を置く。</p> <p>②始点となる定規のくぼみにボールペンの先を合わせて始点を確認する。</p> <p>③ボールペンを立てるように持つ。</p> <p>④ボールペンの芯の先に中指の先を合わせる。ボール</p>	編集の具体的方針(4)(15)に基づく。

			<p>ペンの芯と中指の先が同時にレーザーライター用紙に触れるようにして線を引く。</p> <p>⑤描き終えたら、必ず始点と終点の確認をする</p> <p>ラビちゃん「ものさしには、5mmごとにくぼみがついているよ。ボールペンはまっすぐに立て、ボールペンのしんを中指にぴったりあてるんだよ。」</p>	
55	図	修正	<p>練習問題9の図については、点のみを示した。実際に線を引く際には、表面作図器等を用い、シールなどで点を示し、線を引かせるように指導する。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
56	表	修正	<p>長さ調べの表に関しては、実際に点字盤等で書くことを考え、次のようなメモに変更した。</p> <p>長さしらべ</p> <p>はかるもの、(ア)予想した長さ、(イ)はかった長さの順に書く。</p> <p>① ふでばこ</p> <p>(ア) 20cm</p> <p>(イ) 23cm 8mm</p> <p>実際に書かせる際には、カード等にした点字用紙を用意し、計るものによって1枚1枚分けて書くようにするなど、書きやすいように工夫して指導する必要がある。</p> <p>メモに関しては以後同じように指導する。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
57	絵 図	削除 修正	<p>1. の絵を文章や単純な線や図で表した。</p> <p>「ありが池の向こうになるおかしをみつけました。</p> <p>④と⑤のどの道を通るのがいいか考えています。④と⑤の道の長さをくらべましょう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
59	文	修正	<p>サッカーゲームの「直線をかいてすすむ」では、テープ等を用いて行えるように「テープを貼ってすすむ」に変更した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
60 61	文 絵	追加 修正	<p>1. に次のような文章を追加して場面の説明を加えた。また、図は単純化して小さい魚を点で表した。</p> <p>「小さい魚が集まって大きな魚のような形になっています。●は小さい魚をあらわしています。小さい魚は何匹いますか。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
62	絵	修正	<p>3. の図の100等の数符は省略して表した。ブロック等は輪郭線のみで表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

70	図	修正	7. の問題文の前に数直線を表した。 数直線は、触察しやすいようにするために、1000 までの数直線を 200 ごとに分けて表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
70 71	図	修正	10000 までを点で表した図については、簡略化して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
74	絵 写真	削除 修正 削除	6. の絵を削除し、□のところは、メの字で次のように表した。 「運動会の得点の発表をしています。 赤組 ㊦㊧㊨㊩ 白組 ㊦㊧㊨㊩」 算数たまたばこについては写真等を削除し、身近な点字に意識を向けることができるように、次のような文章に差し替えた。 「身の回りには、たくさんの数があります。点字で表されている数については、教科書のページ、点字カレンダー、電車の切符の券売機、電車のドア、エレベーターの階数などの表示です。 点字ではありませんが、服のサイズの表示や電車の切符の値段、はがきの郵便番号なども数が書かれています。 ほかにも身の回りの数をたくさん見つけてみましょう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
75	図	修正	泉マンションの説明を文章で加えた。 「泉マンションは図23のとおりです。家の番号は、7階で左から8番目の部屋だと708と決められています。」 泉マンションの数字は数符を省略して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
77	絵	削除 修正	絵を削除し、補足説明を挿入した。 「生活科の町探検に水筒を持っています。前日に、けんさんとまほさんが電話で話しています。」 会話文の後に、 「次の日、学校で二人は水筒をくらべてみると…」 水筒は、簡略化して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

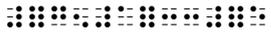
	79	図	修正	dLについては、大き目の墨字で点図にした。 1 dLの図については、簡略化して表した。以後、使えるように凡例として示した。 練習問題1 絵は削除して、次のような図で表す物の名前で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	80	図	修正	Lは、大き目の墨字で点図にした。 1Lの凡例を示した。目盛りは、リットルマスの外側に出して触りやすくした。	編集の具体的方針(4)(13)に基づく。
	81	文	修正	練習問題3の問題文を「次のかさまで触りましょう。」に差し替える。 触る際には、量を意識し、両手の指でしっかり触っているかを観察し丁寧に指導する必要がある。	編集の具体的方針(11)に基づく。
	82	絵	削除	3.の絵を削除し、次の文を挿入する。 「水筒が二つあります。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
	83	写真	削除 修正	写真を削除し、活動が分かるように文章で表した。 みはる「わたしはふくろに入れてはかろう。どれだ けいれたら1Lくらいかな。」 けんた「1Lかどうか1Lマスに入れてはかろう。」 かさしらべのメモは、実際に点字で書けるように次のように示した。 はかるもの (ア)よそうしたかさ (イ)はかったかさの順に書く。 ① ペットボトル (ア)1L 4dL (イ)1L 5dL	編集の具体的方針(4)に基づく。
	84	図	修正	mLを大き目の点図で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	85	写真 文	修正	算数たまたまばこの写真はものの名前と数値を並べて表した。また、大文字と小文字両方の使い方があることをラビちゃんの言葉で示した。 ラビちゃん「  は、  と同じ意味だよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
	86	絵	削除	絵を削除し、場面の様子がわかるように次のリード文を入れた。 「ゆなさんとけんたさんは、パン屋さんでパンのやきあがりを待っています。次の図1の時計を読んで□にあう数字を入れましょう。」 「りこさんは、お父さんと電車に乗って東京にいきます。今、8時30分です。次の電車の発車は、8時45分です。」	編集の具体的方針(4)に基づく。

87	絵	削除	絵を文章で説明する。 「ゆなさんは、毎朝8時に家を出て、8時15分に学校につきます。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
88	絵	削除	絵を文章で説明する。 2. ゆいなさんたちは、生活科で学校探検に行きました。	編集の具体的方針(4)に基づく。
89	文	修正	練習問題4は、次のようにする。 時間を考えたり、時刻を読んだりする練習をしましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
90 91	図	修正	3. りくさんの1日については、時計と数直線を上下に並べて示した。数直線は、正午で2段に分け、時刻の部分にあ。い。などの記号で示し、記号と時計を対応させた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
91	絵	修正	予定表は点字で書きやすくするために次のように変更した。 予定表のメモ(例) 時刻 ア. よてい イ. メモの順にかく。 ① 午前6時 ア. おきる イ. 9時間ねる。 ② 午前6時30分 ア. あさごはん イ. なし ③ 午前7時20分 ア. 花のみずやり イ. 15分くらいかかる。	編集の具体的方針(4)に基づく。
94	絵	削除	おうちで算数では、絵を削除し、場面が分かるようにリード文の後に次の説明を入れた。 「れいなさんとおとうさんは夕食の準備をしています。」	編集の具体的方針(4)に基づく。

95	表	修正	<p>バス停の時刻表については、必要な部分だけ示した。</p> <p>表1 バス停の時刻表</p> <p>横浜港シンボルタワー海釣り桟橋ゆき</p> <p>平日、土曜、休日用の3種類ありますが、土曜日の13時からの時刻表を示します。</p> <table border="1" data-bbox="549 517 927 734"> <thead> <tr> <th>時</th> <th colspan="4">分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>10</td> <td>25</td> <td colspan="2">42</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>8</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>8</td> <td>23</td> <td>36</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>	時	分				13	10	25	42		14	0	18	36	53	15	8	23	31	53	16	8	23	36	53	編集の具体的方針(4)に基づく。
時	分																												
13	10	25	42																										
14	0	18	36	53																									
15	8	23	31	53																									
16	8	23	36	53																									
96	絵	修正	<p>1. の絵は削除し、分かりやすいように名前で示した。</p> <p>図1</p> <div data-bbox="549 920 1054 1111" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ちょう てんとうむし ばった ばった はち ちょう てんとうむし てんとうむし ばった はち てんとうむし</p> </div> <p>3. の数直線については、㊸, ㊹, ㊺, ㊻を触読して分かりやすいように数直線の上部に示した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																									
97	文	修正	6. については、「色を塗りましょう」を「触りましょう」とした。	編集の具体的方針(11)に基づく																									
98	文	挿入	<p>単元名の後に、そろばんと関連付けて学習することを強調した。</p> <p>この単元では、珠算編1の「2たし算・ひき算 2たし算・ひき算(2)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																									
	絵	削除	<p>何円になるかなでは、絵を削除し、次のように文章化して、その後に、おかしの数値を示した。</p> <p>「あかりさんとたかひろくん、まさしくん、はるかさんの4人が、だがしやさんにおやつを買いに来ました。店には、いろいろなおかしがならんでいます。」</p>																										

100	図 絵	修正	<p>つばさの考えの筆算の部分は、横書きの式で表した。また、筆算の仕方の説明と図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>85+42 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> $8 + 4 = 12$ <p>百の位に1くりあげる。百の位は1になる。(だから百の位の答えは100, 十の位の答えは20になる。)</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> $5 + 2 = 7$ <p>一の位は7になる。(だから一の位の答えは7)</p> <p>(3) 百の位, 十の位の答え, 一の位の答えを合わせて</p> $100 + 20 + 7 = 127$ <p>(4) $85 + 42 = 127$</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
102	図	修正	<p>85+47 の計算の仕方は次のように修正した。</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> $8 + 4 = 12$ <p>百の位に1くりあげる。100のくらはいは1になる。(だから百の位の答えは100, 10の位の答えは20になる。)</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> $5 + 7 = 12$ <p>十の位に1くりあげる。</p> <p>(3) 十の位は, 2とくりあげた1で3(だから10のくらの答えは30になる。)</p> <p>(4) 一の位は2になる。(だから1のくらの答えは2)</p> <p>(5) 百の位, 十の位の答え, 一の位の答えを合わせて,</p> $100 + 30 + 2 = 132$ <p>(6) $85 + 47 = 132$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
105	絵	削除	<p>さらに考えよう 絵は削除し, 文章で説明した。</p> <p>折り紙が3色あります。赤は32枚, 黄は27枚, 青は18枚です。全部で何枚ありますか。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

108	図	修正	<p>ゆうとの考えは、横書きの式にした。</p> <p>ひっ算やブロックの図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>134-53 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>3 から 5 がひけないので、百の位から 1 繰り下げて、</p> $13 - 5 = 8$ <p>十の位は 8 になる。(だから十の位の答えは 80)</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> $4 - 3 = 1$ <p>一の位の答えは 1 になる。(だから一の位は 1)</p> <p>(3) 十の位、一の位の答えを合わせて、</p> $80 + 1 = 81$ <p>(4) $134 - 53 = 81$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
109	図	修正	(2)の筆算は横書きの式にした。	編集の具体的方針(9)に基づく。
110	図	修正	<p>筆算やブロックの図は削除し、計算の仕方を文章で説明する。</p> <p>134-58 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>3 から 5 がひけないので、百の位から 1 繰り下げて、</p> $13 - 5 = 8$ <p>十の位は 8 になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>4 から 8 は引けないので、十の位から 1 繰り下げる。</p> <p>十の位は 7 になる。(だから十の位の答えは 70)</p> <p>一の位は、$14 - 8 = 6$ になる。だから一の位の答えは 1 になる。(だから一の位は 1)</p> <p>(3) 十の位、一の位の答えを合わせて、</p> $70 + 6 = 76$ <p>(4) $134 - 58 = 76$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。

111	図	修正	<p>筆算やブロックの図は削除し、計算の仕方を文章で説明した。</p> <p>102-67 の計算の仕方</p> <p>(1) はじめに十の位を計算します。</p> <p>0 から 5 がひけないので、百の位から 1 繰り下げて、 $10-6=4$ 十の位は 4 になる。</p> <p>(2) 次に一の位の計算をします。</p> <p>2 から 7 は引けないので、十の位から 1 繰り下げる。 十の位は 3 になる。(だから十の位の答えは 30) 一の位は、$12-7=5$ になる。(だから、一の位は 5)</p> <p>一の位の答えは 1 になる。(だから一の位は 1)</p> <p>(3) 十の位、一の位の答えを合わせて、 $30+3=35$</p> <p>(4) $102-67=35$</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
115	図	修正	<p>ラビちゃんの言葉はひっ算を横書きの式で文章の中に入れた。</p> <p>ラビちゃん「カードは 1 回ずつ使うから、$12+45=57$ のように 5 を 2 回使う計算はつくれないよね。次の ア. イ. ウ. の式の目の字のところに数を入れて考えてみよう。」</p> <p>ア. からカ. の□の部分にはメの字を入れて表した。</p> <p>ア. </p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
117	図	挿入	237 ページの図を図 1 として挿入した。	編集の具体的方針(1)に基づく。
118	絵	修正	黒板の絵は、輪郭のみの線とした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
119	図	修正	点は、細いテープ等を用いて結ぶようにした。	編集の具体的方針(11)に基づく。
122	絵	追加	図を分かりやすくするために、折り方の説明を加えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
125	図	修正	<p>「かこいをつくろう」に変更し、細いテープなどを用い、方眼の中に貼る作業ができるようにした。ラビちゃんの言葉の中に方眼のめもりについて説明する内容を入れる。</p> <p>ラビちゃん「図 26 のようなマスをほうがんというよ。ほうがんの 1 めもりは、1 cm だよ。」</p>	編集の具体的方針(11)に基づく。

126	図	削除	原典教科書 239 ページの形は指導者が画用紙等で用意し、実際に操作させるよう指導する。ラビちゃんという言葉は削除した。	編集の具体的方針(1)に基づく。
128	写真	修正	算数たまたまはこの写真を削除し、文章で表した。ノートの写真は、点字教科書、点字用紙等児童の身近なものを加えた。 「たてもいややねの形は、前から見ると、三角形のものが多くあります。点字教科書、点字用紙、ノートは四角形です。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
129 130	絵	修正	絵の場面は文章で表し、場面設定をイメージしやすいようにした。乗り物等については、それぞれの問題のところで、図で示した。 「ここは遊園地です。子どもたちがいろいろな乗り物に乗って遊んでいます。 乗り物は、観覧車、ロケット、ジェットコースター、コーヒーカップ、ゴーカートなどがあります。 広い池もあります。池には、魚が泳いでいて、カメも1匹います。ボートが浮かんでいて、子供たちは楽しそうにこいでいます。 小鳥もさえずり、花壇にはきれいな花がさいています。その中を、風船をもって走っている子もいます。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
131	絵 文 絵	挿入 追加 挿入	1. (1)の後に観覧車、ロケットの図を挿入した。図は、簡略して人は●で表した。 (2)の問題文を次のように追加した。 (2)図2は観覧車を1台ずつ横に並べた図です。観覧車の人数を次の言葉で表しました。□にあてはまる数を答えましょう。 練習問題1では、次のようなものを点図化した。 ア. ボート、イ. ゴーカート、ウ. 花壇の花、エ. 子どもが持った風船、オ. 池の魚	編集の具体的方針(4)に基づく。
133	絵	追加	比較させるために図を ア. ロケットを並べた図とイ. 同じ人数で並べた図とした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
136	絵	修正	絵は削除し、イメージを高めるために簡略化した図で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

139	絵	修正	触って分かるようにするために、教科書の図でラビちゃんが隠している薄い点も、はっきりと分かるように表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
140	絵	削除	文章だけでイメージをつかむことができるため絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
143	図	修正	「長さだけ色をぬりましょう」は、「長さのところまで触りましょう。」に置き換えた。指導する際には、正確に触っているかを観察する必要がある。	編集の具体的方針(11)に基づく。
145	絵	修正	絵を文で差し替える ① 1パック2個入りのヨーグルト3パック分 ② 1ふさ3本ついているバナナ3ふさ分	編集の具体的方針(4)に基づく。
147	絵	修正	算数玉手箱に絵を削除し、次のような説明を追加した。 大きさ比べ 友だちと2人組になって九九カードを出し合います。 答えが大きい方が勝ちです。 カードとり ゲームの仕方1 ①九九カードを上に向けて机の上に並べます。 ②1人がカードを1枚選んで、九九の答えを言います。 ③その答えと同じ答えになる九九カードをとりましょう。 ゲームの仕方2 ①九九カードを上に向けて机の上に並べます。 ②1人がカードを1枚選んで式を言います。 ③答えが同じになる別の九九カードをとりましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
149	図	修正	アレイ図は横に触って何個ずつのまとまりが捉えやすいようにするため、横に6個並べて表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
150	絵	修正	6の段の九九の横の絵は削除し、次のように文章で説明した。 「九九カードの答えの方を読んで、6の段の九九をいみましょう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
152	絵	修正	7の段の九九の横の絵は削除し、次のように文章で説明した。 例 先生「 7×5 」 まさき「さんじゅう」 ゆいな「ご」	編集の具体的方針(4)に基づく。

155	絵	修正	<p>練習問題10の絵は削除し、次のように文章で説明した。</p> <p>「それぞれに、えんぴつが3本、消しゴムが1こ入っているふでばこがふたつあります。えんぴつと消しゴムの数をそれぞれかけ算でもとめましょう。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
158	文	修正	先生の言葉の中の算数ノートを、点字使用の児童のなじみのある算数ファイルとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
161	図	修正	アイウエオがはっきりわかるように分けた数直線で提示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
162	絵	修正	<p>児童のメモは、点字で書きやすいように例を示した。</p> <p>(例)</p> <p>はかるもの、ア. 予想した長さ、イ. はかった長さの順に書く。</p> <p>①先生の机の横</p> <p>ア. 1 m50 c m</p> <p>イ. 1 m40 c m</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
164	絵	削除 修正	<p>絵を削除し、文章で説明を加えた。</p> <p>4. 高さが90 c mの本棚と1 m70 c mの本棚があります。二つの本棚の高さの違いはどれだけですか。</p> <p>5. 次の長さを参考にして高さの問題をつくりましょう。</p> <p>そうたさんのしんちょう 1 m25 c m</p> <p>先生のしんちょう 1 m60 c m</p> <p>踏み台の高さ 40 c m</p> <p>床から黒板の上までの高さ 1 m80 c m</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
166 167	図	修正	<p>図をさしかえ、リード文も変更した。</p> <p>さくらさんのへやは、図1のように、たて3 m、よこ2 m80 c mの大きさになっています。</p> <p>今ある部屋の家具は、幅1 mのベッド、幅1 m10 c mの机です。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
171	絵	修正	絵は、簡略化して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
172	図	修正	<p>100の構成については、点字で読んでわかりやすいように文章で表した。</p> <p>(100が15個)</p> <p>100が10個で1000</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>つばさ「きのうの数の12こをはじめに書きました。今日あつめた□こをテープ図にかきたして…」</p> <p>ゆい「答えを求める式は$30-12$です。」</p> <p>先生「どうして引き算になるか図を読みながら説明できるかな。」</p> <p>点字で書く場合も考慮し、式の後に、ラビちゃんの手紙を挿入した。</p> <p>ラビちゃん「点字で書く場合は、□こがわからないから、適当にふふふでつなげておいてもいいね。」</p>	
191	絵	修正	<p>絵を削除し、図1を参照するように文を挿入し、ゆうとさんの言葉で説明した。</p> <p>1. ○ページの図1の4のだんのところを読んで、ゆうとさんが気付いたことについて調べましょう(○には点字教科書のページ数が入る)。</p> <p>ゆうとさんの気付いたこと</p> <p>「4の段の答えは、4, 8, 12, 16, 20と…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
192	絵	修正	<p>絵を削除し、図1を参照するように文を挿入し、ゆいさんの言葉で説明した。</p> <p>2. ○ページの図1の3×5と5×3のところを読んで、ゆいさんが気付いたことについてしらべましょう(○には点字教科書のページ数が入る)。</p> <p>ゆいさんが気付いたこと</p> <p>「3×5と5×3はどちらも…」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
193	文	修正	<p>ラビちゃんの手紙を次のように修正した。</p> <p>ラビちゃん「3×4と6×4の答えをたすと$\square \times 4$」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
195	図	挿入	<p>巻末(p237)の図を(1)の問題文の下に1つだけ挿入する。また、ラビちゃんの手紙は変更する。</p> <p>ラビちゃん「同じ数ずつまとめて考えてみよう。」</p> <p>(2)の「友だちの図を見て」を、「発表を聞いて」に変更した。</p>	編集の具体的方針(11)に基づく
197	8	修正	<p>練習問題5の「図の●をかこんで」を「●のまとまりを考えて」に変更した。</p>	編集の具体的方針(11)に基づく
199	写真	削除	<p>パンやピザを切っている写真は削除し、くらべやすいように切る前と切った後の図で示した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
200	文	修正	<p>分数は、$\frac{1}{2}$ という書き方であることを示した。</p> <p>ラビちゃんの手紙の中の図は削除し、「2つ分(2倍)と」という言葉で説明した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

201	文	修正	練習問題1の「色をぬりましょう」は、「触りましょう」に変更した。	編集の具体的方針(11)に基づく。
205	図	修正	直方体の図を上から見た図と正面から見た図に変更した。(以下、全て同じように変更した。)	編集の具体的方針(5)に基づく。
206	絵	修正	①の絵を削除し、「おかしのはこ」に差し替えた。 ②の絵を削除し、「飲み物が入っていたはこ」に差し替えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
207	文	修正	練習問題2の「かきたしましょう」を「テープなどではりましょう。」に差し替え、図の中に細いテープなどを用い、貼り付けるように指導する。	編集の具体的方針(11)に基づく。
210	絵	修正	2. のリード文を次のように差し替えた。 2. ゆうとさんは、上の面が2, 正面の面が4, その右側の面が3のさいころを見て、次のように言っています。	編集の具体的方針(4)に基づく。
211	文	修正	3. の問題に補足の文を設けた。また、周りから見えないという表現を触れないに変更した。 3. さくらさんは、さいころを二つ用意しました。さいころを二つ重ねて一番上の面に紙をおきました。手前の面は、1と4になっています。その右側の面は、3と2になっています。そして、次のようなクイズを出しました。 さくら「まわりからさわれない上の面、下の面、それから二つのさいころの合わさった面の数を合わせるといくつになるでしょう。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
215	文	修正	9①問題文の「続きをかきましょう」を「完成させましょう」に修正した。書かせる際は、レーザーライター用紙等を用いたり、点字のめの字やのに字等を用いたりして書くように指導する。	編集の具体的方針(4)に基づく。
219	図	修正	3の⑩の問題文を次のように修正した。 1から4までの数字を1ずつ2桁の引き算を作ります。答えが一番小さくなる引き算を見つけましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
224	絵	削除	10①の絵を削除し、言葉で示した。 ①4個ずつお皿に入ったパン 3皿 ②6枚入りの食パン 4ふくろ	
229	文 絵	修正 削除	17④ 問題文を次のように差し替えた。 次の図5のようにはこを蝶結びでむすびます。結び目には、20cm使います。 絵は削除し、上から見た図、正面から見た図に差しかえる。	

3年	8	絵	削除 修正	<p>ノートの記入例の絵は削除し、以下のように修正した。</p> <p>2月12日 p195</p> <p>⑤ チョコレートの数を求めましょう。</p> <p>(めあて) かけ算を使って、工夫して求めよう。</p> <p>(見通し)</p> <p>2つに分けて考える。</p> <p>(自分の考え)</p> <p>チョコレートが、たてに3個が3つ分</p> $3 \times 3 = 9$ <p>たてに5個が3つ分</p> $5 \times 3 = 15$ $9 + 15 = 24$ <p>答え 24個</p> <p>(友だちの考え)</p> <p>山本さん</p> <p>6個のまとまりをつくって</p> $6 \times 4 = 24$ <p>みんなかけ算が使えるように工夫している！</p> <p>(まとめ)</p> <p>⑤のようなものの数も、同じ数ずつのまとまりを作れば、かけ算をつかって求められる。</p> <p>練習問題4</p> $4 \times 5 = 20$ <p>答え 20個</p> <p>(ふりかえり)</p> <p>山本さんの、動かしてまとまりを作る考え方はすごいと思いました。</p> <p>(先生からのコメント)</p> <p>いろいろな問題で使えそうですね。</p> <p>友達の考えの良いところに気づけましたね。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	10~11	絵 表	削除 修正	<p>「九九パズルをしよう」の九九表、選択肢①、②は削除し、以下のように修正した。</p> <p>ラビちゃん「つぎのア. ~ウ. の数は、何の段にあったかな。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>ア. 6, 9, 12 イ. 36, 45, 54, 63 ウ. 24</p> <p>けん「ア. の数は3ずつ増えているから…。」 りえ「ウ. の数はいろいろな段にあったね。」</p>																							
10	表	修正	<p>7の段の九九表は点図化し、以下のように7×4以外をすべて埋めて、2人の児童の会話の後に移動した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>…かける数</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>7</td><td>4</td><td>21</td><td></td><td>35</td><td>42</td><td>48</td><td>56</td><td>63</td><td></td> </tr> </table> <p>かけられる数</p>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	…かける数	7	7	4	21		35	42	48	56	63		編集の具体的方針(4)に基づく。
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	…かける数																
7	7	4	21		35	42	48	56	63																	
12	表	削除 修正	<p>さくらとあおいの考えの表は削除し、以下のように修正した。また、考えを記述している部分は、「さくらの考え」、「あおいの考え」とタイトルを付けた。以下、考えを記述する部分は同様に扱う。</p> <p>さくらの考え</p> <p>$7 \times 1 = 7$ $7 \times 2 = 14$ $7 \times 3 = 21$ $7 \times 4 = 28$</p> <p>かける数が1ずつ増えると7ずつ増える。</p> <p>あおいの考え</p> <p>$7 \times 7 = 49$ $7 \times 6 = 42$ $7 \times 5 = 35$ $7 \times 4 = 28$</p> <p>かける数が1ずつ減ると7ずつ減る。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																						
12 13	図	修正	<p>ゆうとの考えの数を表す●印は大凸点で表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																						
12 13	図	修正	<p>数を表す●印は大凸点で表した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																						
15	写真	修正	<p>黒板の写真については、板書の問題と児童の言葉のみを以下の言葉の後に記載した。</p> <p>□に当てはまる数について考えています。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。																						

16	写真	修正	<p>黒板の写真については、児童の言葉のみを以下のよう に記載した。</p> <p>△4「さきさんの…」の後に、さきの考えとそれに対 する児童の言葉を記載した。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく。
16～17	写真	修正	<p>△5、△6から「右ページの」を削除し、それぞれ の後に17ページ写真の当該児童の考えとそれに対す る児童の言葉を記載した。</p> <p>また、ゆうこの考えの数を表す●印は大凸点で表し た。</p>	編集の具体的方針(4) に基づく。
18～19	写真	修正	<p>黒板の写真については、板書事項と児童の言葉のみ とし、以下のように記載した。</p> <p>さきの考え かける数が1増えると、答えがかけられる数だけ増 える決まりを使った。</p> <p>なおとの考え かける数とかけられる数を入れ替えても答えは同じ になる決まりを使った。</p> <p>ゆうこの考え かける数を分けても答えは同じになる決まりを使っ た。</p> <p>えりな「3人ともかけ算の決まりを使っているのが いいと思います。」</p> <p>ゆうや「つけたしです。かけ算の決まりを使って、 これまでに学習した計算が使えるようにしていま す。」</p> <p>ともお「なおとさんは決まりを使って、足し算の回 数が…。」</p> <p>ゆか「ゆうこさんの考えは、数が大きくなっても使 えると思います。」</p> <p>先生「いつでもできるかを考えたのですね。いいと ころに気づきました。」</p>	編集の具体的方針(4) に基づく。
20	写真	削除	2人の児童がおはじき入れをしている写真は削除し た。	編集の具体的方針(4) に基づく。
22	表	削除	「しっかりチェック」の4の段の九九表は削除し た。	編集の具体的方針(4) に基づく。

	24	表	修正	「九九のふしぎ」本文後に、すべての数が書かれた九九表と、本文中で説明されている4つの角の数だけが書かれた九九表の2種類を記載し、後述の表は4つの角の数を線で結んだ。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	25	文章	修正	2について、「右の」を「図の」に言い換えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	25 26	図	削除 修正	6の段の例を、書き込みと鉛筆を削除し、以下の説明の後に図を記載した。 0からスタートして、答えの一の位の数を順に線で結びます。 6の段の答えの一の位の数は、6, 2, …だから、 0→6→2…と線で結びます。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	25 26 27	絵	削除 修正	買い物の絵を削除し、以下のように記載した。 けんのみほが買い物に来ました。お店の商品と値段は次の通りです。 みかん 37円 いちご 361円 さくらんぼ 368円 キウイ 375円 バナナ 90円 びわ 108円 りんご 274円 マンゴー 468円 パイナップル 286円 けん「バナナとみかんを買ったときの代金は…。」 みほ「びわとバナナの値段の違いは…。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
			追加	単元の初めに以下のような文章説明を追加した。 この單元では、主に珠算編2「2足し算・引き算」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう	編集の具体的方針(4)に基づく。
	27 28	絵	削除	1の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	27 28	図	削除	筆算の計算説明図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	28 29	文章	修正	筆算の足し算では一の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために大きい位から計算するように指導する。そのため「発見」の内容を以下のように修正した。	編集の具体的方針(8)に基づく。

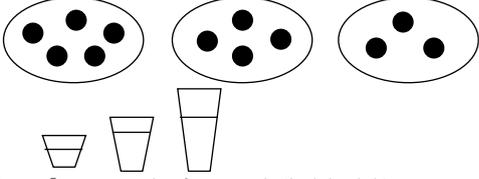
			<p>3桁と3桁の足し算の計算も、これまでに学習した足し算と同様に、位をそろえて大きい位から順に計算します。</p> <p>筆算では、次のように書いて、一の位から計算します。</p> $\begin{array}{r} 274 \\ +361 \\ \hline \end{array}$	
28 29	図	削除	②の図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
29 30	図	削除	筆算の図と説明は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
29 30	絵	削除	練習問題3の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
30 31	図	削除	③, ④の図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	文章 編集	削除	<p>筆算の足し算では一の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために大きい位から計算するように指導する。そのため「発見」の内容を以下のように修正した。</p> <p>数が大きくなっても、足し算の計算は、これまでに学習した計算と同じように計算します。</p> <p>筆算では、一の位から計算します。</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
30 31	絵	削除	①の買い物の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
31 32	図	削除 編集	△2の図は削除し、ラビちゃんの言葉の筆算は横式に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
31 32 32	図	削除 修正	△3の図は削除し、以下のように文章化した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
33			<p>①はじめに百の位の計算をします。</p> $4 - 2 = 2$ <p>②次に十の位の計算をします。</p> <p>3から8は引けないので、百の位から1繰り下げます。</p> <p>百の位から1繰り下がって</p> $2 - 1 = 1 \text{ (だから、百の位の答えは100)}$	

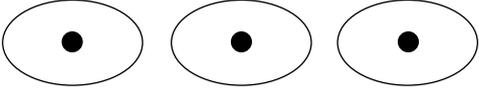
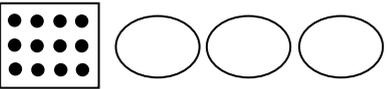
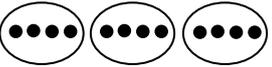
				<p>十の位は</p> $13 - 8 = 5$ <p>(だから、十の位の答えは50)</p> <p>③次に一の位の計算をします。</p> $8 - 6 = 2$ <p>(だから一の位の答えは2)</p> <p>④百の位、十の位、一の位の答えを合わせて</p> $100 + 50 + 2 = 152$ <p>⑤$438 - 286 = 152$</p>	
		文章	修正 追加	<p>筆算の引き算では一の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために、大きいくらいから計算するように指導する。そのため「発見」の内容を以下のように修正した。</p> <p>3桁と3桁の引き算の計算も、これまでに学習した引き算の計算と同じように、位をそろえて大きい位から順に計算します。</p> <p>筆算では、一の位から順に計算します。</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
	32 33 33 34	図	削除 修正	<p>△1の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに百の位の計算をします。</p> $5 - 3 = 2$ <p>②次に十の位の計算をします。</p> <p>4から6は引けないので、百の位から1繰り下げます。</p> <p>百の位から1繰り下がって$2 - 1 = 1$ (だから、百の位の答えは100)</p> <p>十の位は</p> $14 - 6 = 8$ <p>③次に一の位の計算をします。</p> <p>2から8は引けないので、十の位から1繰り下げます。</p> <p>十の位は1繰り下がって</p> $8 - 1 = 7$ <p>(だから、十の位の答えは70)</p> <p>一の位は</p> $12 - 8 = 4$ <p>(だから一の位の答えは4)</p> <p>④百の位、十の位、一の位の答えを合わせて</p> $100 + 70 + 4 = 174$ <p>⑤$542 - 368 = 174$</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

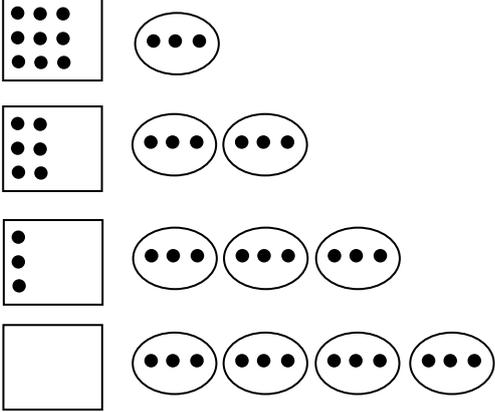
		文章	追加	<p>練習問題2の前に、「さらに考えよう」として、次の説明を追加した。</p> <p>さらに考えよう 734-436を計算しましょう。</p> <p>①はじめに百の位の計算をします。</p> $7 - 4 = 3$ <p>②次に十の位の計算をします。</p> $3 - 3 = 0$ <p>③次に一の位の計算をします。</p> <p>4から6は引けません。十の位は0で繰り下げられないので、百の位から繰り下げます。百の位が1繰り下がって</p> $3 - 1 = 2 \text{ (だから、百の位の答えは200)}$ <p>十の位は $10 - 1 = 9$ (だから、十の位の答えは90)</p> <p>一の位は</p> $14 - 8 = 8 \text{ (だから一の位の答えは8)}$ <p>④百の位、十の位、一の位の答えを合わせて</p> $200 + 90 + 8 = 298$ <p>⑤ $734 - 436 = 298$</p> <p>ラビちゃん「すぐ上の位から繰り下げられないときはもう一つ上の位から繰り下げればいいんだね。」</p>	編集の具体的方針(9)に基づく
33 34 35	図	削除 修正	<p>3の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに百の位から計算します。</p> $4 - 2 = 2$ <p>②次に十の位の計算をします。</p> <p>0から6は引けないので、百の位から1繰り下げます。百の位から1繰り下がって</p> $2 - 1 = 1 \text{ (だから、百の位の答えは100)}$ <p>十の位は</p> $10 - 6 = 4$ <p>③次に一の位の計算をします。</p> <p>3から5は引けないので、十の位から1繰り下げます。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。	

				<p>十の位は1繰り下がって</p> $4 - 1 = 3$ <p>(だから、十の位の答えは30)</p> <p>一の位は</p> $13 - 5 = 8$ <p>(だから、一の位の答えは8)</p> <p>④百の位、十の位、一の位の答えを合わせて</p> $100 + 30 + 8 = 138$ <p>⑤403 - 265 = 138</p>	
		図	削除	<p>④の図は削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>
35 36	文章	削除 修正	<p>筆算の引き算では一の位から計算するが、点字教科書では珠算との整合性をもたせるために、大きい位から計算するように指導する。そのため「発見」は以下のように修正した。</p> <p>数が大きくなっても、引き算の計算は、これまでに学習した計算と同じように計算します。</p> <p>筆算では、一の位から順に計算します。</p>	<p>編集の具体的方針(9)に基づく。</p>	
35 36 36 37	図	削除 修正	<p>「しっかりチェック」の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに百の位を計算します。</p> $3 + 2 = 5$ <p>②次の十の位を計算します。</p> $5 + 7 = 12$ <p>百の位に1繰り上げます。</p> $5 + 1 = 6$ <p>(だから、百の位の答えは600)</p> <p>十の位は2</p> <p>③次に一の位を計算します。</p> $6 + 8 = 14$ <p>十の位に1繰り上げます。</p> $2 + 1 = 3$ <p>(だから、十の位の答えは30)</p> <p>一の位の答えは4</p> <p>④百の位、十の位、一の位の答えを合わせて</p> $600 + 30 + 4 = 634$ <p>⑤356 + 278 = 634</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>	
		絵	削除	<p>③の絵は削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(4)に基づく。</p>

36 37 37 38	図	削除 編集	<p>4の図は削除し、問題の選択肢は以下のように文章化した。</p> <p>ア. 十の位を計算します。 0から8は引けないので百の位から1繰り下げます。 十の位は $10 - 8 = 2$</p> <p>イ. 百の位を計算します。 $4 - 1 = 3$</p> <p>ウ. $402 - 185 = 217$</p> <p>エ. 一の位を計算します。 2から5を引けないので、十の位から1繰り下げます。一の位は $12 - 5 = 7$</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
	図	削除 編集	<p>6の筆算図は削除し、横式に修正した。□の部分は「め」の字で表示した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
37 38	写真	削除	「なるほど算数教室」の写真は削除	編集の具体的方針(4)に基づく。
38 39	図	編集	「右のように」を「図のように」と言い換えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
38 39	絵	削除	導入部の図は削除し、説明文と児童の言葉のみを記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
40		追加	1本文中で説明されている原典教科書256ページのアンケート結果は、本文の後に記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
40 42	絵	削除	導入部話し合いの絵は削除し、児童の言葉のみを1本文中の後に記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
40 42	本文	修正	<p>△1「『正』の」を「『へ』の」と言い換えた。</p> <p>「整理し」を「まとめ」と言い換えた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
44	図	削除 修正	<p>△1の「正」の字の説明図は削除し、本文の後に「へ」の字の説明を以下のように記載した。</p> <p>数を数えるときに、墨字では「正」という漢字を使って調べます。</p> <p>(正の字1画目) … 1 (正の字2画目) … 2 (正の字3画目) … 3 (正の字4画目) … 4 正 … 5</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>点字では、「へ」の字を使って調べると便利です。</p> <p>⠠ … 1</p> <p>⠡ … 2</p> <p>⠢ … 3</p> <p>⠣ … 4</p> <p>⠤ … 5</p>	
	絵	削除	児童が相談する絵は削除し、言葉のみを1の前に記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	絵	削除	2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
48	絵	削除	5の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
50	絵	削除 修正	黒板の絵は削除し、児童の言葉の後にそれぞれが考えたグラフを記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
56	絵	削除 修正	<p>導入部の絵は削除し、次のように修正した。</p> <p>(きょうだいと分けると)</p> <p>きょうだい3人で焼きそばとお茶を分けました。高校生のお兄さんは大きなお皿とコップにたくさん分けました。中学生のお姉さんは中くらいのお皿とコップに分けました。小学生の僕は小さなお皿とコップに分けました。</p> <p>ぼく「みんなちょうどいい量になっているね。」</p> <p>(友だちと分けると)</p> <p>まちことまさきとみほの3人でクッキーとジュースを分けました。</p>  <p>まちこ「クッキーとジュースを分けたけど…」</p> <p>みほ「なかよく分けるにはどうしたらいいかな。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

57	絵	削除 修正	<p>絵は削除し、以下のように修正した。</p> <p>12個のいちごを、えりなとさちことゆうやの3人で分けることにしました。</p> <p>えりな「いちごが12個あるよ。」</p> <p>ゆうや「3人で同じ数ずつ分けよう。」</p> <p>えりな「1個ずつとったよ。」</p>  <p>ゆうや「1人分は何個になるのかな。」</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
58	図	修正	<p>図は削除し、以下のように点図化した。</p> <p>ゆうとの考え</p> <p>えりな さちこ ゆうや 一人分</p>   1個  2個  3個  4個 <p>答え 4個</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
58 59	記号	修正	わり算の記号は初出なので、点字の単位記号とともに「÷」の字形を点図で示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
58 59	絵	削除	2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
60	図	修正	図は削除し、平成27年度発行点字教科書3-3 18~19ページ図3と同様の図に点図化した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
60 61	絵	削除	練習問題2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
60 61 62	絵	削除 修正	<p>導入部の絵は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>いちごが12個あります。これを3個ずつ分けます。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>ゆり「いちごが12個あるよ。」</p> <p>ひろや「3個ずつ分けよう。」</p> <p>けん「何人分あるのかな。」</p>	
	図	修正	<p>△2の図は削除し、以下のように修正した。</p> <p>つばさの考え方</p>  <p>答え 4人</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
63	絵	削除	□2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
64	図	修正	平成27年度発行点字教科書3-3 34~35ページ 図6と同様の図に点図化した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
64 65	絵	削除	練習問題2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
64 65 66	文章 図	修正	めあてと△1の本文は□3の本文の後に移動し、2人の児童が見つかった問題とその考え方を示す図を一人一人まとめて記載した。図中の矢印は削除し、 $6 \div 2 = 3$ の式は2人の解答の最後にそれぞれ記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	絵	削除	□1の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
67	絵	削除	「しっかりチェック」、□2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
68	絵	削除	「お家で算数」の絵は削除し、父娘の言葉のみとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
69	絵	削除	「読み取る力をのばそう」の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
70	絵	削除 修正	「時刻や時間がいえるかな」の絵は削除し、以下のように修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>時刻と時間，どちらが正しいかな。</p> <p>図1 朝起きました。</p>  <p>ゆい「朝起きた（時刻，時間）は午前〇時だね。」</p> <p>図2 朝ご飯を食べ始めました。</p>  <p>食べ終わりました</p>  <p>カルロス「朝ご飯を食べ始めてから食べ終わるまでの（時刻，時間）は〇分だね。」</p> <p>図3 学校に向かって家を出ました。</p>  <p>学校につきました。</p>  <p>ゆうと「家を出てから学校につくまでは〇分，朝起きてから学校につくまでは〇時間だね。」</p> <p>ラビちゃん「時刻や時間について，もっと考えていこう。」</p>	
71	絵	削除	絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
72~73	図	削除	両ページ上部の時間を表す数直線は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
72	図	削除 修正	算数玉手箱の図は削除し，本文中「右のようにして…」を以下のように修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
			40分に30分を足して70分です。70分は1時間と10分だから9時10分と考えることもできます。	
73	絵	削除	2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
74	絵	削除	3，練習問題4の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

75	写真	削除 修正	1 の写真は削除し、 1 の本文の後に児童の言葉のみを記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
75 77	写真	削除 修正	△1の写真は削除し、以下のように文章化した。 時計には、文字盤と時間を表す短い時針、分を表す長い分針、秒を表す秒針があります。文字盤には小さい目盛りが60個あり、1つの目盛りは秒を表します。秒針が1周すると60秒です。	編集の具体的方針(4)に基づく。
75 77	写真	削除	練習問題1の写真は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
78	絵	削除	4 の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
	絵	削除 修正	導入部の絵は削除し、以下のように文章化した。 フリーマーケット会場に来ました。 かさ 473円 コップ 312円 シール 20円 鉛筆 32円 ぼうし 550円 マグネット 130円 消しゴム 23円 スーパーボール 8円 クリップ 29円 まさき「8円のスーパーボールを3個買うと代金は…。」 まちこ「シールや鉛筆を3つ買うときは、どんな計算になるかな。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
79	絵	削除	絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
79 81		追加	単元の初めに以下のような文章説明を追加した。 この単元では、主に珠算編3「3かけ算 1. かけ算(1)」を使って、そろばんでの計算の仕方を考えましょう。	編集の具体的方針(4)に基づく。
79 81	絵	削除	1 の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

	82	図	削除 修正	黒板の前で説明する図は削除し、ゆうとの考えとあ おいの考え、児童や先生の言葉のみを記載した。	編集の具体的方針(4) に基づく。
	83	図	削除 修正	筆算の計算図は削除し、以下のように文章化した。 ①はじめに一の位から計算します。3・2が6なの で、6 ②次に十の位を計算します。3・3が9なので、90 ③一の位、十の位の計算の答えを合わせて 6+90=96 ④ $32 \times 3 = 96$ ラビちゃん「かける数の段の九九を使うと、一つの段 の九九で計算できるね。」 筆算では、次のように書いて、一の位から計算しま す。 $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	編集の具体的方針(9) に基づく。
	83 84	絵	削除	練習問題3の絵は削除した。	編集の具体的方針(4) に基づく。
	83 84	絵	削除	2の絵は削除した。	編集の具体的方針(4) に基づく。
	84 85	図	削除 修正	△2の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章 化した。 ①はじめに一の位から計算します。3・9 27なの で、27 ②次に十の位を計算します。3・2が6なので、60 ③一の位、十の位の計算の答えを合わせて 27+60=87 ④ $29 \times 3 = 87$	編集の具体的方針(9) に基づく。
	84 85 85 86	図	削除 修正	3の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化 した。 ①はじめに一の位から計算します。3・2が6なの で、6 ②次に十の位を計算します。3・7 21なので、210 ③一の位、十の位の計算の答えを合わせて 6+210=216 ④ $72 \times 3 = 216$	編集の具体的方針(9) に基づく。

		図	削除 修正	<p>④の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに一の位から計算します。6・2 12 なので、12</p> <p>②次に十の位を計算します。6・7 42 なので、420</p> <p>③一の位、十の位の計算の答えを合わせて 12+420=432</p> <p>④72×6=432</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。
85 86	絵	削除	①の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。	
87	図	削除 修正	<p>△2の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに一の位から計算します。3・2が6なので、6</p> <p>②次に十の位を計算します。3・1が3なので、30</p> <p>③次は百の位を計算します。3・3が9なので、900</p> <p>④一の位、十の位、百の位の計算を合わせて 6+30+900=936</p> <p>⑤312×3=936</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。	
87 88	図	削除 修正	<p>②の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに一の位から計算します。3・3が9なので、9</p> <p>②次に十の位を計算します。3・5が15なので、150</p> <p>③次に百の位を計算します。3・2が6なので、600</p> <p>④一の位、十の位、百の位の計算の答えを合わせて、 9+150+600=759</p> <p>④ 253×3=759</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。	
87 88 88 89	図	削除 修正	<p>③の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化した。</p> <p>①はじめに一の位から計算します。5・9 45 なので、45</p> <p>③ 次に十の位を計算します。5・0が0なので、0</p> <p>③次に百の位を計算します。5・3 15 なので、1500</p>	編集の具体的方針(9)に基づく。	

			④一の位、十の位、百の位の計算の答えを合わせて、 $45 + 0 + 1500 = 1545$ ⑤ $309 \times 5 = 1545$	
	図	削除 修正	算数たまたまこの筆算の図は削除し、 2458×3 は横式にした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
88 89	絵	削除	①の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
92	図	削除 修正	「しっかりチェック」の筆算の仕方の図は削除し、以下のように文章化した。 ①はじめに一の位から計算します。 $4 \cdot 3 = 12$ なので、12 ②次に十の位を計算します。 $4 \cdot 6 = 24$ なので、240 ③一の位、十の位の計算の答えを合わせて $12 + 240 = 252$ ④ $63 \times 4 = 252$	編集の具体的方針(9)に基づく。
93	図	削除 修正	⑤の筆算の図は削除し、すべて横式にした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
93 94	絵	削除	⑥、⑦の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
93 94	絵	削除 修正	導入部の絵は削除し、児童の言葉のみとした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
95	絵	削除	①の絵は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
96	図	削除 修正	黒板の図は削除し、ア.、イ.の図と、児童や先生の言葉のみとする。	編集の具体的方針(4)に基づく。
97	写真	削除 修正	②の写真について、ア.は手と定規を削除し、イ.は平成27年度発行点字教科書3-8 115ページ図9と同様にぶんまわしを点図化し、△2の後に記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
97 98	文章	削除 修正	△2「イ.のようにして、…」を「イ.のぶんまわしを使って、…」に修正した。 ラビちゃん「●のところに画びょうをさすよ。」	編集の具体的方針(4)に基づく。
97 98	写真	削除	練習問題2の写真は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
98 100	図		③の円の図は原典教科書原寸大の図を記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

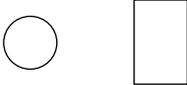
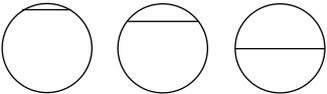
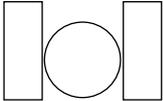
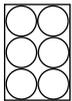
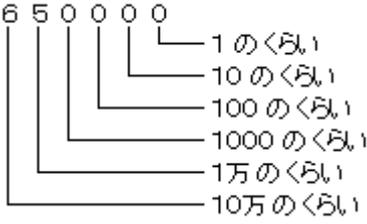
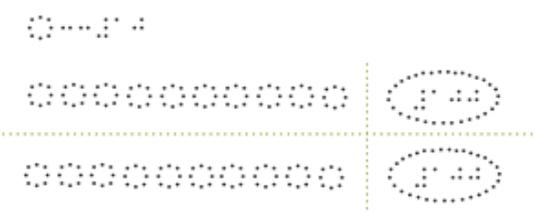
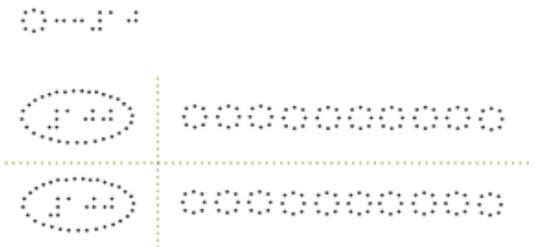
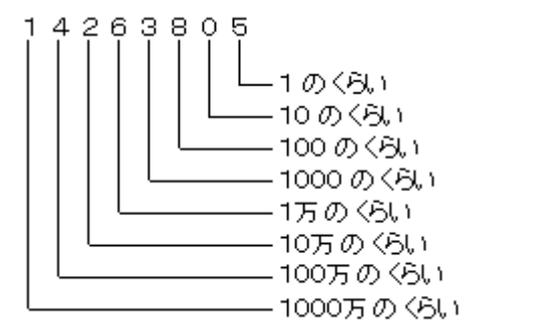
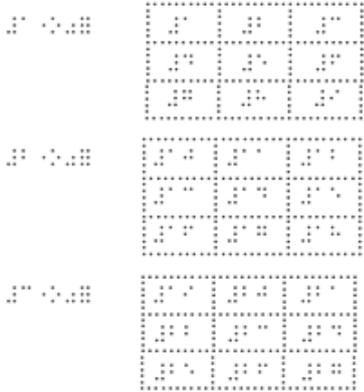
		写真	削除	△1の写真は削除した。 指導の際は、図8と同じ大きさの円を用意する。	編集の具体的方針(4) に基づく。
98 100 ~101	写真	削除	4の写真は削除した。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
	絵	削除	練習問題5の絵は削除した。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
100 ~101	写真	削除 修正	円の書き方の写真は削除し、言葉のみとした。 コンパスの使用については、本単元の導入前に、自立活動などの時間に指導しておくといよい。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
	写真	削除	練習問題6の写真は削除した。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
102	図	削除 修正	6の図は削除し、道路と主要な建物のみを簡略化し、原典教科書原寸通りの配置で点図化した。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
102 103	図	削除	△1の図からコンパスを削除した。 指導の際は、レーザーライターなどの代替え教材を使用する。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
102 103 104	図	削除 修正	練習問題9については、学習に必要な陸と海の境界のみに簡略化して海は裏点とした。点ア～エは原典教科書原寸通りの配置とした。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
	写真	削除 修正	導入部の写真は削除し、以下のように1の本文内に文章化した 缶、テニスボール、ラグビーボール、野球のボール、ドッジボール、たまごといった丸い形があります。これらについて考えましょう。	編集の具体的方針(4) に基づく。	
104 105	写真	削除 編集	△1の写真は削除し、以下のように真上と正面からの点図化した。 ラビちゃん「缶を真上や正面から見ると…」 真上 正面 	編集の具体的方針(2) に基づく。	
104 105 106	写真	削除 修正	△2の写真は削除し、横から見た図と切り口の図に修正した。 球を切った時の切り口  切り口 	編集の具体的方針(4) に基づく。	

	図	削除 修正	△1の球を半分にした図は削除し、切り口のみを点図化した。 	編集の具体的方針(4)に基づく。
	写真	削除 修正	練習問題1の写真は削除し、点図化した。 ラビちゃん「2個の箱で球を挟んでみたよ。」 	編集の具体的方針(4)に基づく。
	図	削除 修正	3の図は削除し、真上から見た様子に点図化した。 	編集の具体的方針(4)に基づく。
	図	削除	6右側の図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
107	図	削除	5) ①, ②の図は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
108	絵	削除	新国立競技場のイメージを削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
111	表	修正	位取りの表は、数を中心に配置して、各桁から引き出し線で位を示すよう修正した。 	編集の具体的方針(4)に基づく。
112	表	修正	ページ上部の囲いにある表は、111ページと同様に下のよう修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

			<p>また、囲いの下にある「数を読み取りましょう。」の課題の右にある表も同様とした。</p>	
112	図	修正	<p>1000 を○で表し，1000 を10 のまとまりとして線で明確にした。矢印は削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
113	図	修正	<p>1000 を○で表し，1000 を10 のまとまりとして線で明確にした。矢印は削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
114 ～115	図	修正	<p>数直線が長く，点字教科書では読み取りにくい見開きページの表現を避けるため，分割して表現した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
115	絵	削除	<p>5の問題枠にある1000万の図を，文章で理解できるため削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
115	表	修正	<p>「1億は100万をいくつ集めた数ですか」の下にある表は，文章に置き換えた。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
117	絵	削除	<p>1の問題横の絵を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。
117	図	修正	<p>1の図は，10 を○で表し，10 を10 のまとまりとして線で明確にした。矢印を削除した。</p>	編集の具体的方針(4)に基づく。

				
118	写真	削除	「算数たまたまばこ」の写真は、文字部分の点訳で理解できるので削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
119	図	修正	1の図は、10を○で表し、10を10のまとまりとして線で明確にした。矢印を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
				
119	図	修正	1のラビちゃんの吹き出しに付いて、図から文章に修正した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
121	表	修正	「たしかめ問題」「しっかりチェック」の位取りの表は、111ページの例により下のよう表現した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
				
121	図	修正	4の数直線が長く、点字教科書では読み取りにくい見開きページの表現を避けるため、分割して表現した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
123	絵	削除	文章中心の表現として、絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
123	絵	削除	様子を表す写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

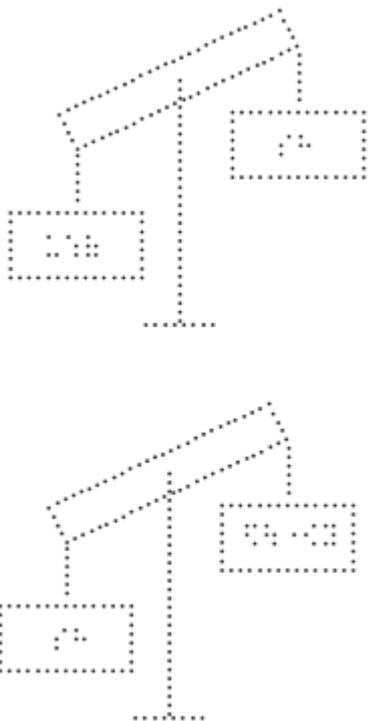
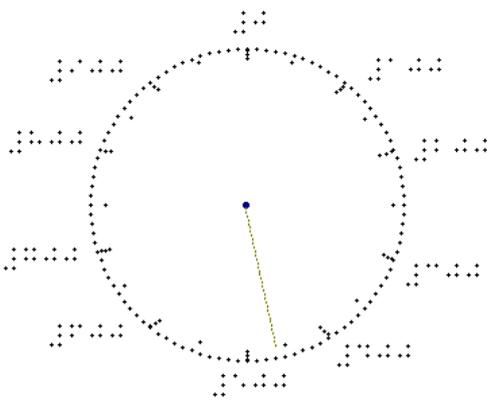
124	絵	削除	問題 1 及び 2 の枠内にある折り紙の絵が、直接問題を解くことに用いる可能性がないので削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
125	絵	削除	セリフを順に提示して表現して、絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
127	絵	削除	2 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
128	絵	削除	3 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
129	絵	削除	4 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
131	絵	削除	ページ上部にある玄関先の傘立てを使っているイメージを削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
132	絵	削除	練習問題 1 の横の絵を削除した。 練習問題 2 の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
133	絵	削除	練習問題 3 の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
133	絵	修正	算数たまたまこの積み木の並べ方の絵が見取り図のため、上から見た図に変更し、1 段目から順に記載した。 	編集の具体的方針(4)に基づく。
134	絵	削除	しっかりチェックの絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
135	絵	削除	5 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
136	絵	削除	1 の問題の横の絵及び練習問題 2 の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
137	絵	削除	2 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

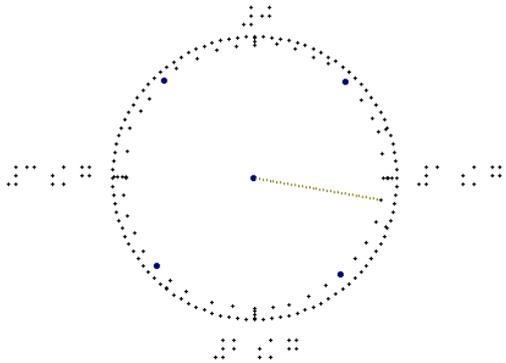
137	図	修正	ゆうとの考えの中にある図示を文章による説明に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
138	写真	修正	「こんな数見たことあるかな」の体温計や水筒の写真を文章に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
139	絵	修正 削除	1の問題の横の1Lますの絵を、平面的な点図とした。水の部分を点図で表した。水がますのどこまで入っているか分かりやすくするため、水面の部分をますの外まで引き出した。ポットの絵は、削除した。 めあての右下に1の前出の部分拡大図画があるが、内容が同じなので削除し、前出の図を参照するようにした。 0.1Lの説明の枠内にある図は、目盛りと水面を明確に区別するため、水面を表す線をますの外に出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
140	図	修正	ページ内のますの中に水が入った図は、目盛りと水面を明確に区別するため、水面を表す線をますの外に出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
140	文字	追加	小数の表し方を説明する部分では、点字表記に加え、普通文字(墨字)表記を図化して示した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
141	絵	修正	ものさしの目盛りを簡略して表した。	編集の具体的方針(10)に基づく。
141	問題	修正	練習問題4は、図に書き込むことが難しいため、シールを貼る課題に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
142 ~143	図	修正	数直線は、ページ内におさめて表現できないため、読み取りやすさの観点から、教科書の回転を要しない程度に分割して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
143	問題	修正	練習問題4は、図に書き込むことが難しいため、シールを貼る課題に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
143	写真	削除	「算数たまたばこ」の写真を削除して、文章表現とした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
147 ~148	絵	修正	当該ページの上部の教室のやりとりの様子を表した絵は、2ページの内容が続いていることから、絵を文章表現として、2ページ分を続けて掲載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
147	絵	削除	1の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
149	文章	修正	めあての「筆算のしかたを考えよう」を「筆算」を「計算」として記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。

149	筆算	修正	筆算のしかたを計算のしかたに代え、上位の桁から展開する方法を記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
150	絵	削除	3の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
151	図	削除	4の問題の横のますめ及び練習問題5の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
151	筆算	修正	筆算のしかたを計算のしかたに代え、上位の桁から展開する方法を記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
152	筆算	削除	しっかりチェックにある「筆算のしかた」を「計算のしかた」とし、該当ページを参照するような表記とした。	編集の具体的方針(9)に基づく。
152	問題	修正	数直線に書き込むことが難しいため、シールを貼る課題に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
153	絵	削除	4の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
153	図	修正	5及び6は、問題とは別に式や空欄が提示されているが、問題文の中に組み込むよう変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
155	写真 絵	削除	やりとりの文字部分を記載することで状況がイメージできるため、イラストや写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
156	絵	削除	まきじゃくのイラストやまきじゃくを使っている様子を表した図は削除した。原典教科書にある文章をもとに、実物を触察したり、使用したりしてみる必要がある。	編集の具体的方針(4)に基づく。
157	写真	修正	「長さ調べ」の様子を示す写真と調査票の例示を削除し、文章による説明で代替した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
157	絵	削除	ページ中央の「オリンピックの記録」の下の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
158 ~159	絵	修正	地図のイラストを点図向きに簡略化した。課題に2ページをつなげて解く問題がないことから、上下1ページの図として掲載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
159	文字	追加	kmの表し方の部分では、点字表記に加え、普通文字(墨字)表記を図化して示した。墨字練習用の部分を削除した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
159	図	修正	ラビちゃんの考えを示した図を文章に置き換えた。	編集の具体的方針(4)に基づく。
160	図	修正	3の問題に関連した地図を表した図を簡略化して示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

161	写真	削除	算数たまたまばこの写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
162	絵	修正	人が動作しているイラストを削除し、ピザや折り紙、リボンを点図化した。原点教科書で色の付いている部分を点で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
163	絵	削除	1の問題の下の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
164	問題	修正	練習問題2は、書き込むことが難しいため、シールを貼る課題に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
165	図	修正	2の問題の下のラビちゃんのセリフに図が含まれているが、文章で代替した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
165	文字	追加	分数の表し方の部分では、点字表記に加え、普通文字(墨字)表記を図化して示した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
165	図	修正	水かさを表す絵で、目盛りと水かさが明確になるよう、水面を示す部分をますの外に線を出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
166	図	修正	練習問題6で水かさを表す絵で、目盛りと水かさが明確になるよう、水面を示す部分をますの外に線を出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
167	絵	削除	作業の様子を表す絵を削除して、作業手順を文章で説明した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
167	図	追加	図の表す内容を説明で補足した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
168 ~169	図	修正	2ページにまたがる数直線は、点字教科書では見開きの図の読み取りや扱いが難しいので、数直線を分割し記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
171	絵	削除 修正	ページ上部の教室のやり取りの絵は、会話の文章のみ記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
171	絵	削除	1の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
172	絵	削除 修正	ページ上部の教室のやり取りの絵は、会話の文章のみ記載した。また、問題との関連から171ページの3の下に挿入した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
172	図	修正	教室のやり取りを表す絵の下にある分数の式は、吹き出しを引き出し線による説明に変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
173	絵	削除	2の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
175	絵	削除	4の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

176	写真	削除 修正	写真をすべて削除し、文章で身の周りにある三角形の形をした物の説明を追加した。直接触って全体を捉えられない事例は、「そのように見える」という説明を追記した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
177	写真	削除	ストローで三角形を作っている写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
178	絵	修正	教室のやりとりを表した絵を削除し、文章による説明にした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
180	図	修正	二等辺三角形のかき方を表した図に、文章による説明を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
181	図	修正	算数たまたまはこの手順を表す図に、文章による説明を追加した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
182	問題	修正	練習問題3は、「～をかきなさい。」を「～をかく方法を考えましょう。」に代替した。	編集の具体的方針(11)に基づく。
185	写真	削除 修正	作業している様子の写真を削除した。 建物の写真を削除して、キャプションを生かした文章にした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
182	問題	修正	練習問題3は、「～をかきなさい。」を「～をかく方法を説明しましょう。」に代替した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
188	絵	削除	2の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
189	絵	削除	算数たまたまはこの絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
190	写真	削除 修正	文房具などの写真及び重さ比べをしている写真を削除し、セリフや文章を記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
191	絵	削除	1の問題の下の文房具の絵を削除して、文字で絵の内容が読み取れるよう問題文を変更した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
191	写真	修正	天秤の写真は、簡略化して下のような点図で表した。192～193ページも同様にする。	編集の具体的方針(4)に基づく。

				
193	文字	追加	1 g の表し方の部分では、点字表記に加え、普通文字（墨字）表記を点図化して示した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
194 ~195	図	削除	はかりの目盛りを直線で表現した図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
194	写真	修正	はかりの目盛りを簡略化して、下のように表した。端数の判断は、計測位置と目盛りの関係から類推するよう指導する。なお、はかり全体を表す絵は削除した。練習問題1も同様に示した。	編集の具体的方針(10)に基づく。
				
195	写真	削除	はかりの使い方は、文章のみで示し、写真は削除した。はかりを使っている様子の写真は削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
196 ~197	図	削除	はかりの目盛りを直線で表現した図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

196	写真	修正	<p>194 ページと同様に、はかりの目盛りを簡略化して下のように表示した。なお、はかり全体を表す絵は削除した。197 ページの練習問題 2 も同様に示した。</p> 	編集の具体的方針(10)に基づく。
196	文字	追加	1 k g の表し方の部分では、点字表記に加え、普通文字（墨字）表記を点図化して示した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
197	問題	修正	練習問題 3 は、書き入れる問題から印を付ける問題文に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
197	絵	削除	4 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
197	写真 表	削除 修正	重さ調べの様子の写真は削除した。拡大されている重さ調べの表は、ラビちゃんのセリフとして文章として示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
198	絵	削除	4 の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
198	写真	削除 修正	2 の写真を用いた説明は、写真を削除して、文章で説明した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
198	絵	削除	「おうちで算数」の絵を削除し、やりとりのセリフで示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
199	文字	追加	1 t の表し方の部分では、点字表記に加え、普通文字（墨字）表記を点図化して示した。	編集の具体的方針(13)に基づく。
199	写真	削除	3 の横の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
199	写真	削除	算数たまたまばこの成分表示の写真を削除して、本文の後に文章で記載した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
201	図	修正	しっかりチェックと 2 のはかりの図は、194 ページ及び 196 ページの例により、簡略化して示した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
202	絵	削除	はかりをイメージする絵を削除し、絵の代替となる文章の説明を問題文に組み込んだ。	編集の具体的方針(4)に基づく。

203	写真 絵	削除	「なるほど算数教室」の写真や絵を削除して、文章とセリフを記載した。上皿天秤や分どうは、実物を触察する必要がある。	編集の具体的方針(4)に基づく。
204	写真	削除	「なるほど算数教室」の写真を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
205	絵	削除	絵で表した庭の様子を、文章で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
207	絵	削除	2の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
208	絵	削除	練習問題5の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
209	絵	削除	1の問題の横及び「さらに考えよう」の下の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
210	絵	削除	2の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
211	絵	削除	練習問題5の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
211	絵	削除	算数たまたまばこのの絵は、数直線図で考えることができ、直接問題で使用しないため削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
212 ~213	絵	削除	「たしかめ問題」の1及び4の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
214	絵	削除	音楽ホールの絵は点図化せず削除し、「長いすが横に3脚、縦に10脚並んでいます。」と文章で説明した。長いす1脚の人数は、後の問題で明確なので、ここでは表現しなかった。	編集の具体的方針(4)に基づく。
215	吹き出し	削除	ラビちゃんが「ノートに貼って考えよう」と伝えているが、点字教科書から切り取って貼って考えることは難しいことから削除し、他の方法により指導する必要がある。	編集の具体的方針(15)に基づく。
216	図	修正	ゆいとはつばさの考えで用いられた図は、長いす1脚のまとまりと、大きなまとまりの両方を囲みで表現されている、点図で2つの囲みを表現すると図が大きくなり、扱いにくい見開き表現となるため、大きなまとまりのみ裏点の線で表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
217	文章	追加	教室のやりとりの場面が小見出しの次に説明なく記載されているので、状況を説明する文章を挿入した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
217	絵	削除	1の問題の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

218	文章	修正	「発見考え方」の後にある文章で「筆算は、次のようにします。」の「筆算」を「計算」として記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
218	筆算	修正	筆算のしかたを削除して、計算のしかたとして、上位の桁から展開する方法を記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
219	図	修正	82×64の計算を口を使った穴埋めの図で表した部分を文章として表現した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
219	筆算	修正	筆算のしかたを削除して、計算のしかたとして、上位の桁から展開する方法を記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
219	絵	削除	練習問題4の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
220	図	修正	214×34の計算を口を使った穴埋めの図で表した部分を文章として表現した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
220	筆算	修正	筆算のしかたを削除して、計算のしかたとして、上位の桁から展開する方法を記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
220	絵	削除	練習問題6の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
222	文章	修正	ページ内に出てくる「筆算」を「計算」に置き換えた。	編集の具体的方針(9)に基づく。
220	筆算	修正	さくら、つばさ、カルロス及びゆいの考えが筆算で表されているが、筆算は行わないため、上位の桁から展開する方法として書き換えて記載した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
222	絵	削除	練習問題3の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
224	文章	修正	「しっかりチェック」の②を筆算のしかたの穴埋めは、既出事項なので削除して、「計算のしかたを考えましょう。」とした。	編集の具体的方針(9)に基づく。
224	文章	修正	3の問題は、つばさの考えを使って計算を工夫することを求めているが、つばさの考えは別掲されているため、問題文の途中につばさの考えを挿入した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
222	絵・ 図	削除	5・6の問題横の絵と図を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
225	図	修正	算数たまたまこの筆算の穴埋め課題を、上位の桁から展開する方法のできる穴埋め課題に変更した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
226 ～227	絵	削除	1・2の問題及び練習問題2の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。

228 ～229	絵	削除	3の問題及びたしかめ問題3の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
230	写真	削除	児童用机でそろばんを使っている写真を削除し、そろばんの写真でそろばんの各部の名称を説明する部分の写真は、珠算編の図を使用した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
234 ～235	絵	削除	問題9, 11, 14の横の絵を削除した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
225	写真	修正	P194と同様に、はかりの目盛りを簡略化して点図で表した。	編集の具体的方針(10)に基づく。
236	図	修正	ながれ図は、1ページで表す点図とした。	編集の具体的方針(4)に基づく。
239	問題 図	修正	グラフ用紙に書き込むことが難しいので、問題を「棒グラフを使った表し方を考えましょう。」とし、作業用のグラフ用紙の図を削除した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
240	問題	修正	3cmずつコンパスで教科書の図を区切る問題は、教科書に作業することが難しいため、「…の方法を考えましょう。」で代替した。	編集の具体的方針(9)に基づく。
241	問題	修正	数直線に書き込むことが難しいため、シールを貼る課題に変更した。	編集の具体的方針(15)に基づく。
242	絵	修正	11のマで、1Lますの図は、目盛りと水面を明確に区別するため、水面を表す線をますの外に出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
244	絵	修正	13のイで、1Lますの図は、目盛りと水面を明確に区別するため、水面を表す線をますの外に出して表した。	編集の具体的方針(4)に基づく。
245	図	修正	14のチ及びツのはかりの図は、194ページと同様に、はかりの目盛りを簡略化して点図で表した。	編集の具体的方針(10)に基づく。